Exsight

取扱説明書

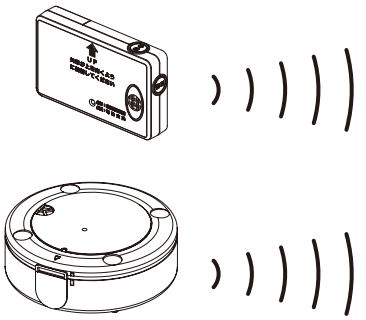
保安・設備監視用受信ユニット

EXR-500

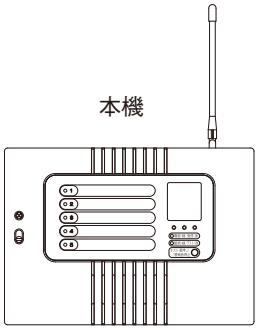
このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

1 商品説明

「保安・設備監視用受信ユニットEXR-500」は、弊社の小電力型ワイヤレスセキュリティシステムの送信機シリーズと組み合わせてご使用ください。
本機は、送信機からの電波を受信すると警報音でのお知らせと同時に接点信号を出力します。



各種送信機



本機

主な特長

①最大60台までの送信機が登録可能

最大60台までの送信機をチャンネル数に振り分けて登録可能です。
1つのチャンネルにまとめて60台登録したり、2つのチャンネルに30台ずつ計60台登録することも可能です。

②分かりやすい液晶表示

液晶画面を搭載することにより、送信機のCH・登録No.・シリアルNo.（S/No.）・異常内容などを分かりやすく表示します。

液晶表示部

③登録方法

送信機から電波を送信して行う発報登録、送信機のシリアルNo.（S/No.）を直接本機へ入力して行うシリアルNo.（S/No.）登録および、オプションの登録・消去用ソフトを使ってPCによる登録ができます。

④動作テストが可能

動作テストモードを搭載していますので、送信機から受信機までの無線部分の日常点検が簡単に行えます。

⑤警報総合出力１回路と異常出力４回路を装備

個別出力に加え、警報総合出力、いたずらを知らせるタンパー異常出力や妨害波などを知らせる環境異常出力、電池切れ異常出力、定期送信異常出力の４つの異常出力を装備しています。

⑥設置場所の確認

点検モードにより、受信レベルをアンテナマークと報知音で確認でき、電波環境点検モードにより妨害電波や周辺ノイズの影響を電波環境マークにより確認できるので、設置場所を選ぶのに便利です。

⑦シリアルNo.（S/No.）表示による確実な登録

登録モード・消去モード・登録内容確認モード時に送信機の登録No.、シリアルNo.（S/No.）を表示できるので、確実に登録や消去ができます。

⑧親切設計

- ●電波の受信距離は見通しで約100mです。
- ●オプションの中継機を使用すれば電波を中継し、電波受信距離を延ばすことが可能です。
- ●オプションの登録・消去用ソフトを使用することでPCによる送信機の管理が可能です。
  詳しくは弊社までお問い合わせください。

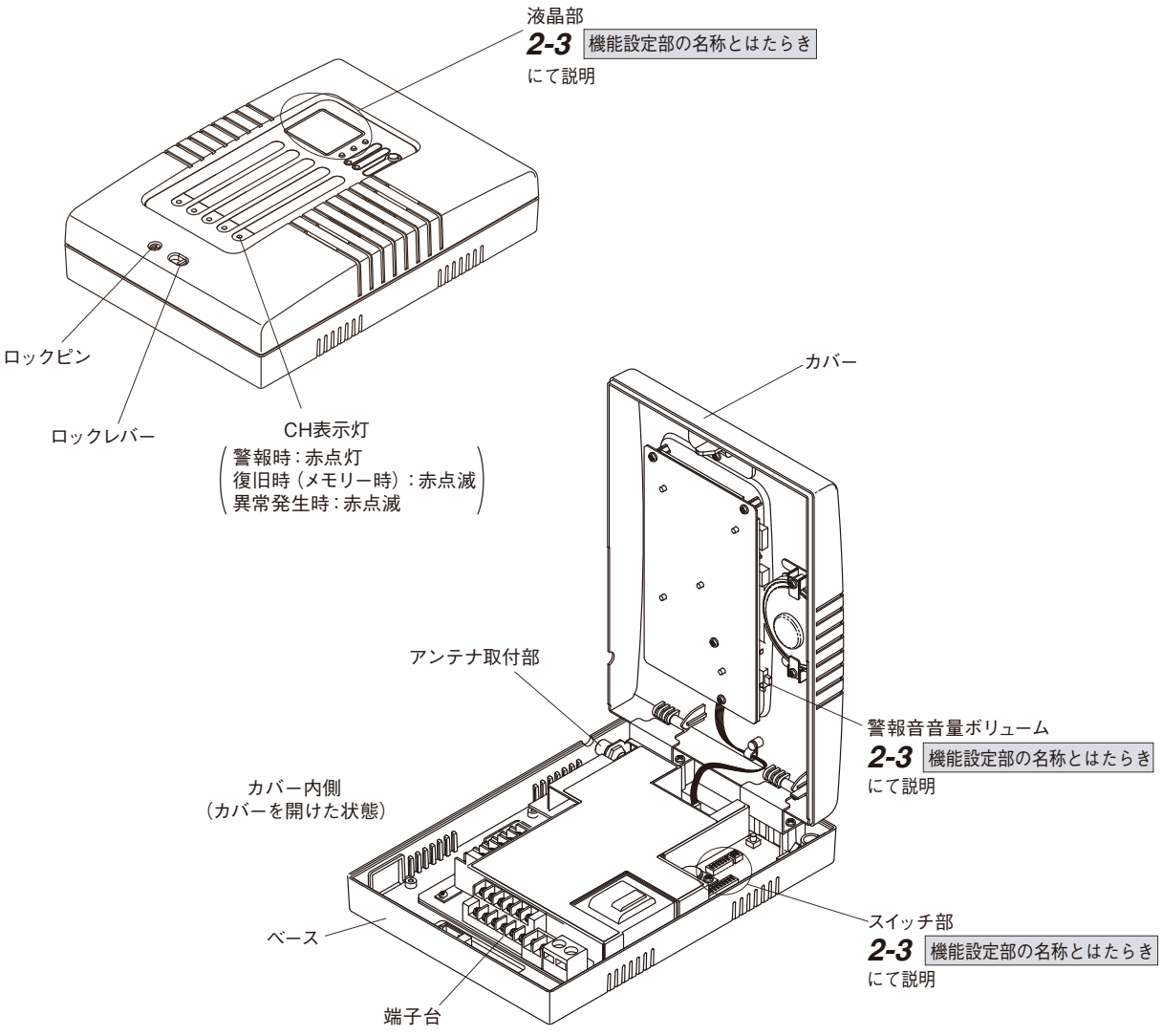
― 目次 ―

1. 商品説明…… P 2
2. 各部の名称
   - 2－1 本体…… P 2
   - 2－2 付属品…… P 3
   - 2－3 機能設定部の名称とはたらき…… P 3
3. ご使用上の注意…… P 5
4. ご使用前の準備
   - 4－1 発報登録…… P 6
   - 4－2 シリアルNo.（S/No.）登録…… P 7
   - 4－3 消去…… P 8
5. 取付方法…… P 9
6. 配線方法…… P11
7. 動作確認…… P12
8. 機能説明
   - 8－1 受信周波数切替機能…… P13
   - 8－2 警報音切替機能…… P13
   - 8－3 鳴動時間切替機能…… P13
   - 8－4 電池切れ音報知機能…… P13
   - 8－5 異常出力接点切替機能…… P13
   - 8－6 定期送信異常出力機能 …… P14
   - 8－7 警報復旧信号切替機能 …… P14
   - 8－8 警報総合出力接点切替機能 …… P14
   - 8－9 警報個別出力接点切替機能 …… P14
   - 8－10 動作テスト機能 …… P14
   - 8－11 モード切替機能…… P15
   - 8－12 タンパー異常報知機能…… P16
   - 8－13 電池切れ異常報知機能 …… P16
   - 8－14 定期送信異常報知機能 …… P17
   - 8－15 環境異常報知機能 …… P17
   - 8－16 メモリー機能 …… P18
   - 8－17 ＬＥＤ表示機能 …… P19
   - 8－18 登録内容確認モード …… P19
   - 8－19 点検モード …… P20
   - 8－20 電波環境点検モード…… P20
9. 異常時の点検一覧表 …… P21
10. 仕様 …… P22
11. 外形寸法図 …… P23
12. 免責事項について …… P24

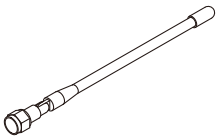
2 各部の名称

●本商品の梱包内容や、説明書の文中に出てくる部位の名称を説明しています。
以下の本体および付属品が開梱時にすべてそろっていることを確認してください。

2-1 本体



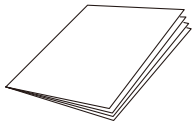
2-2 付属品



アンテナ
×1本

キー
×2個

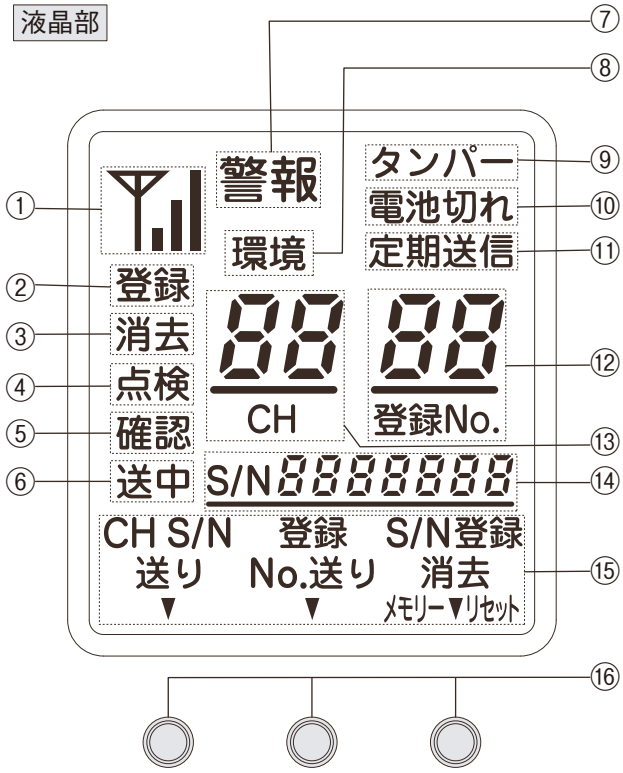
本体取付ネジ φ4×20
×4本



取扱説明書（本書）
×1部

2-3 機能設定部の名称とはたらき

液晶部



①アンテナマーク
（受信レベル）：点検モード時に受信レベルに合わせて表示

②登録表示　：登録モード時点灯

③消去表示　：消去モード時点灯

④点検表示　：点検モード時、電波環境点検モード時点灯

⑤確認表示　：登録内容確認モード時点灯

⑥電波経路表示：点検モード、テストモード時、電波受信の対象を表示
送：送信機から直接信号を受信した場合点灯
中：中継機を経由して信号を受信した場合点灯

⑦警報表示　：警報時点灯
復旧時点滅（メモリー動作）

⑧環境表示　：環境異常、電波環境点検モード時点灯、メモリー時点滅

⑨タンパー表示：タンパー異常時点灯
復旧時点滅（メモリー動作）

⑩電池切れ表示：電池切れ時点灯
復旧時点滅（メモリー動作）

⑪定期送信表示：定期送信異常時点灯
復旧時点滅（メモリー動作）

⑫登録No.表示：本機に送信機を登録時に自動で若い番号から割り当てられます。

⑬CH表示　：登録してあるCHを表示します。

⑭シリアルNo.
(S/No.)表示：登録モード、消去モード、点検モード、登録内容確認モード、テストモード時に点灯し、送信機それぞれ固有の番号です。

⑮操作ボタン表示：各種操作可能時点灯

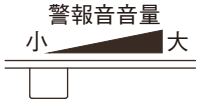
⑯操作ボタン　：操作ボタン表示の操作が行えます。
※通常モード時に左側２ボタン同時押しで、登録内容確認モードになります。

⑰電源／受信表示灯：電源投入時：緑色点灯
電波受信時：赤色点灯

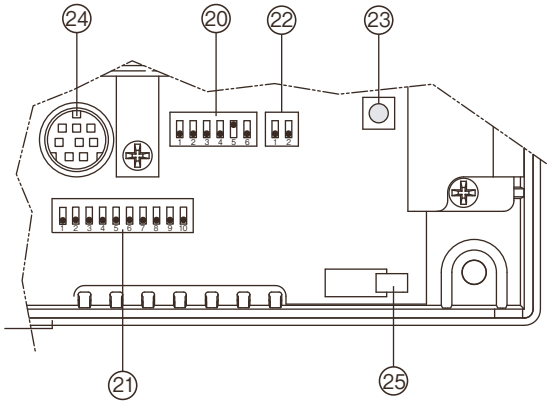
⑱監視／ﾃｽﾄ表示灯：監 視 時：緑色点灯
テスト時：赤色点灯

⑲テスト
／警報音停止ボタン　：動作テスト、および警報音の出力停止

警報音音量ボリューム　警報動作時の音量が調整できます。

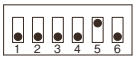


スイッチ部



---

⑳ 機能設定スイッチA



1	警報音設定（出荷時：「ピポピポ」）	：警報音の音色を設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-2*** 警報音切替機能）」
2～4	鳴動時間設定（出荷時：10秒）	：警報音の出力時間を設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-3*** 鳴動時間切替機能）」
5	電池切れ音鳴動設定（出荷時：あり）	：電池切れ異常を受信時のブザー音の有無を設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-4*** 電池切れ音報知機能）」
6	空き	

㉑ 機能設定スイッチB

1	異常出力接点設定（出荷時：b接点）	：タンパー、電池切れ、定期送信、環境の出力を行う接点を“a接点”か“b接点”かを一括で設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-5*** 異常出力接点切替機能）」
2～3	定期送信異常出力設定（出荷時：許可）	：送信機から定期送信を受信しなかった場合、出力を行うか設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-6*** 定期送信異常出力機能）」
4	警報復旧信号設定（出荷時：有効）	：警報復旧信号の受信時での動作を設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-7*** 警報復旧信号切替機能）」
5	警報総合出力設定（出荷時：b接点）	：警報信号受信時に出力を行う接点を“a接点”か“b接点”かを各個別に設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-8*** 警報総合出力接点切替機能）」
6～10	警報個別出力設定（出荷時：b接点）	：警報信号受信時に出力を行う接点を“a接点”か“b接点”かを各個別に設定できます。 └► 「***8*** 機能説明（***8-9*** 警報個別出力接点切替機能）」

㉒ 受信周波数設定スイッチ　：受信する電波の周波数を切り替えます。　→► 「***8*** 機能説明（***8-1*** 受信周波数切替機能）」

㉓ モード切替スイッチ　：スイッチを押すたびにモードが切り替わります。→► 「***8*** 機能説明（***8-11*** モード切替機能）」

㉔ 外部通信コネクタ　：登録・消去用ソフトの使用など、外部と通信するためのコネクタです。

㉕ タンパースイッチ　：カバーの開閉の検知を行います。

3 ご使用上の注意 必ずお守りください

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負う場合がある内容」です。

⚠注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する場合がある内容」あるいは「誤動作や失報により運用されるシステムでの通報が遅れる場合がある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。	気をつけていただく内容や、知っておいていただきたい内容です。

⚠警告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源供給を中止して煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。

●本機の出力接点には、表示された容量をこえるような機器を接続しないでください。火災・感電の原因となります。

●屋内用です。雨のかかる場所や湿気の多い場所には設置しないでください。万一、内部に水などが入った場合、すぐに機器本体の電源供給を中止してから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●本機は防水型ではありません。風呂場や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●改造すると法律により罰せられます。また、火災、感電、故障の原因ともなりますので、この機器の分解や改造は絶対にしないでください。

●表示された電源入力〈AC100VまたはDC10～30V〉以外の電圧で使用しないでください。また、電源入力の併用は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。

●医療器具の近くで本機を使用されますと、医療器具へ影響およぼす場合がありますので、そのような使用方法は避けてください。

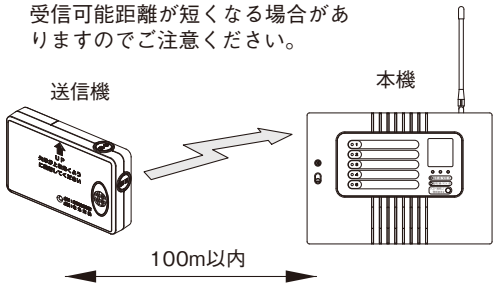
⚠注意

●濡れた手で端子部に触れないでください。感電の原因となる場合があります。

●本機の重量に耐えられないような場所に設置しないでください。機器が落下して怪我の原因となります。

注意

⚠●本機の受信可能距離は、見通し距離で約100m以内です。建物の構造や各機器と本機との間の障害物など、周囲の環境によっては受信可能距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。



⚠●電波の受信距離、および到達距離は次のような使用場所では短くなる場合があります。

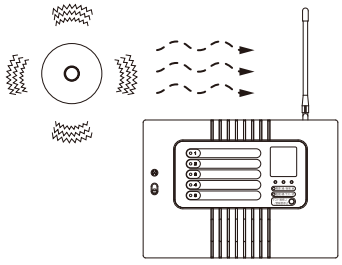
- ・送信機と受信ユニットとの間に金属や鉄筋コンクリートなどの隔壁がある場合。
- ・壁内部の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールなどを使用している場合。
- ・受信ユニットを取り付ける面が金属の場合や周辺が金属で囲まれるような場合。（スチール家具の間など）
- ・テレビ、ラジオの送信所付近の強電界地域の場合。

⚠●2台以上の送信機から同時に送信されますと、電波を受け付けない場合がありますが故障ではありません。

⚠●本機から発生する磁界や磁気により、近くの機器が正常に動作しない場合があります。必ずご確認の上、運用してください。

⚠●本機は精密機器ですので落下などによる衝撃を加えると故障の原因となります。取り扱いには十分注意してください。

⚠●警報ベル（弊社製KB-6など）をご使用の場合は、本機と警報ベルとの距離は可能な限り（少なくとも3m以上）遠ざけてください。
そのうえ設置完了後には、実際に警報ベルを鳴動させた状態で各送信機からの電波が正常に受信できることを必ず確認してください。



※警報ベル内部には一般的にDCモーターが使用されており、動作時には比較的強い電気ノイズが発生します。

⚠●強い電界や磁気を発生する機械の近くでは正常に動作しないことがあります。

⚠●本運用の前に、運用する場所間で確実に電波を受信し、送信可能であることを確認してください。

⚠●本機は日本国内の使用に限ります。

⚠●本設置を行うまえに電源線を仮配線し、設置しようとする場所で確実に受信可能であることを確認してください。

4 ご使用前の準備

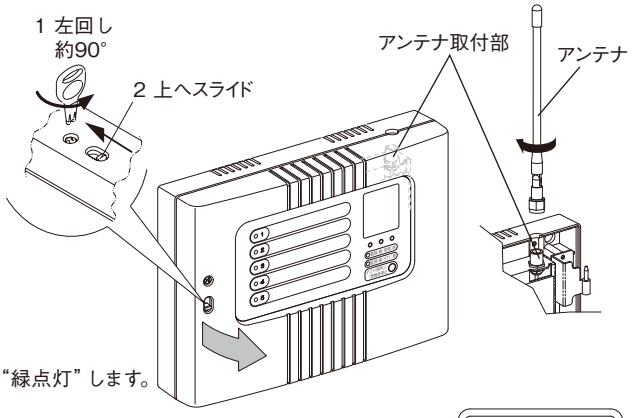
●本機をご使用いただくためには、送信機の登録が必要です。
以下に送信機の登録／消去方法を説明します。送信機の登録可能台数は最大60台までです。

注意：本機に中継機の登録はできません。

●登録する送信機を発報させて登録する場合 → ***4-1*** 発報登録
●登録する送信機のシリアルNo.（S/No.）を直接登録する場合 → ***4-2*** シリアルNo.(S/No.)登録
●登録した送信機を消去する場合 → ***4-3*** 消去
●オプションの登録・消去用ソフトを使ってPCによる登録も可能です。詳しくは弊社までお問い合わせください。

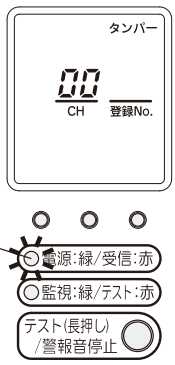
4-1 発報登録

①ロックピンを解除にしてから、ロックレバーをスライドさせてカバーを開けて付属のアンテナを確実に取り付けてください。



②［***6*** 配線方法］の項を参照の上、本機に配線して電源を投入してください。［電源／受信表示灯］が“緑点灯”します。

※カバー開時は右図のような液晶表示となり、タンパー異常出力を行います。



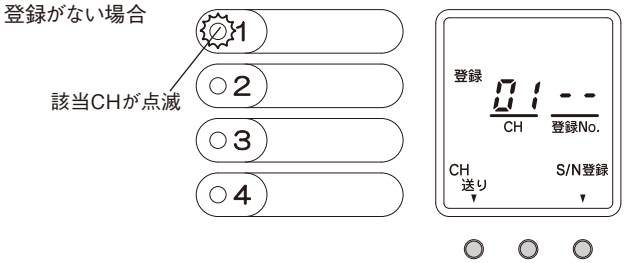
③本機の周波数を、登録する送信機の周波数に合わせて［受信周波数設定スイッチ］を切り替えてください。（→ ***8-1*** 受信周波数切替機能、参照）

注意：４周波切替対応型以外の送信機を登録する場合は、必ず周波数を“F1（出荷時）”にしてください。

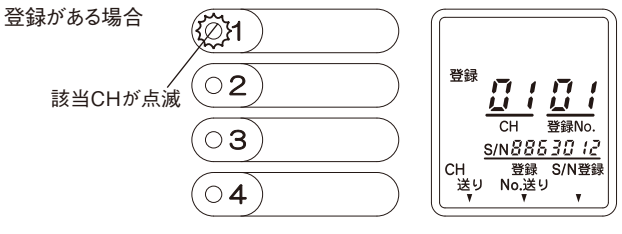
④［モード切替スイッチ］を押し“登録モード”にしてください。“登録”が表示され、登録するCHの［CH表示灯］が“点滅”します。

※液晶部は下図のような表示になります。

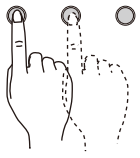
登録がない場合



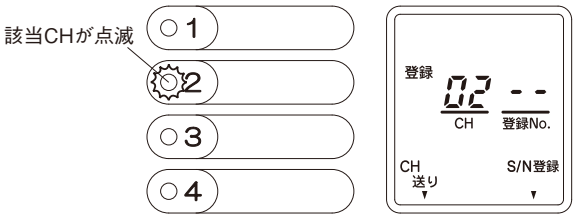
登録がある場合



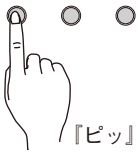
※既に登録がある場合、登録No.最も若い番号の内容が表示されます。“登録No.送り”ボタンを押すことにより順次登録された内容（登録No.、シリアルNo.(S/No.)）を表示することもできます。



⑤“CH送り”ボタンを押し、登録したいCHを選択してください。

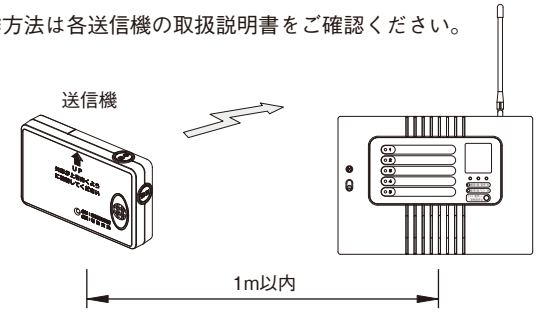


“CH送り”を押すと、以下のように切り替わります。
1 → 2 → … → 5

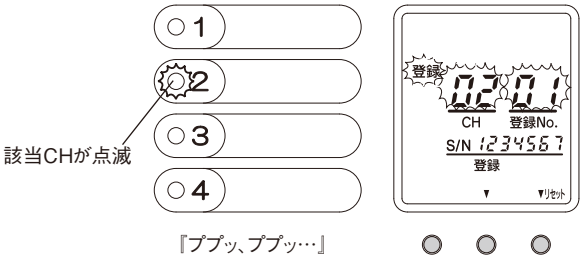


⑥送信機と本機の間を１ｍ以内に近づけて送信機の電源を投入して、送信機から警報信号を送信してください。

※操作方法は各送信機の取扱説明書をご確認ください。



⑦送信機からの電波を受信すると、仮登録状態となり、「ププッ、ププッ…」と鳴動し、“登録”CH、登録No.が点滅表示、シリアルNo.（S/No.）が点灯表示します。登録No.は未登録の最も若い番号順に自動的に割り当てられます。



『ププッ、ププッ…』

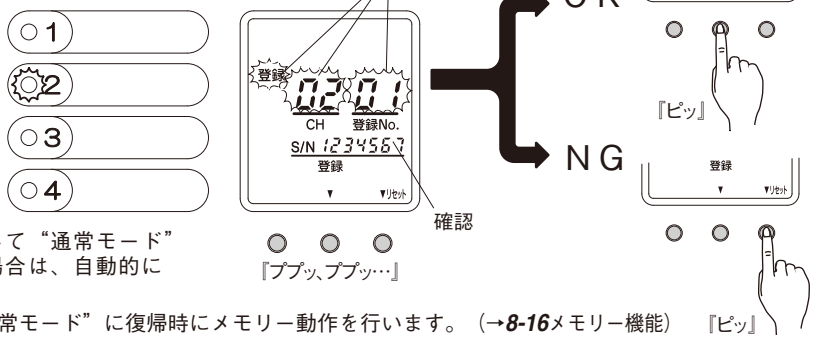
登録No.の表示

登録No.表示	内　　容
--	該当CHに送信機が登録されていない
E0	該当送信機が既に他のCHに登録済である
E1	送信機の登録台数が60台をこえている

⑧表示されているCH、シリアルNo.（S/No.）が正しいか確認してください。

OK：“登録”ボタンを押し、登録を確定させてください。
NG：“ﾘｾｯﾄ”ボタンを押し、⑤からやり直してください。

●引き続き登録を行う場合 ⟶ ⑤へ
●登録を終了する場合 ⟶ ⑨へ

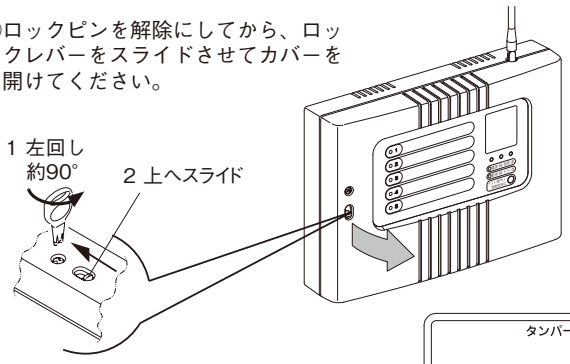


⑨登録終了後、［モード切替スイッチ］を押して“通常モード”に戻してください。５分間何も操作がない場合は、自動的に“通常モード”に戻ります。

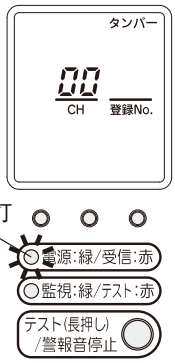
※登録済みの送信機から信号を受信した場合“通常モード”に復帰時にメモリー動作を行います。（→***8-16***メモリー機能）

4-2 シリアルNo.（S/No.）登録

①ロックピンを解除にしてから、ロックレバーをスライドさせてカバーを開けてください。



②［***6*** 配線方法］の項を参照の上、本機に配線を接続して電源を投入してください。［電源／受信表示灯］が“緑点灯”します。



※カバー開時は右図のような液晶表示となり、タンパー異常出力を行います。

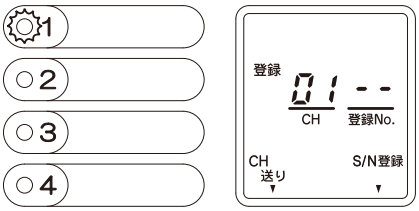
③本機の周波数を、登録する送信機の周波数に合わせて［受信周波数設定スイッチ］を切り替えてください。
（→***8-1*** 受信周波数切替機能、参照）

注意：４周波切替対応型以外の送信機を登録する場合は、必ず周波数を“Ｆ１（出荷時）”にしてください。

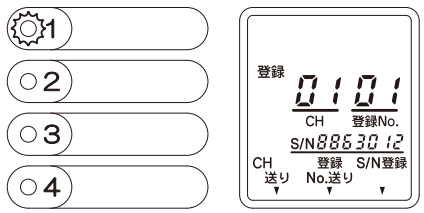
④［モード切替スイッチ］を押し“登録モード”にしてください。“登録”が表示され［CH表示灯］が“点滅”します。

※液晶部は下図のような表示になります。

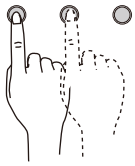
登録がない場合



登録がある場合



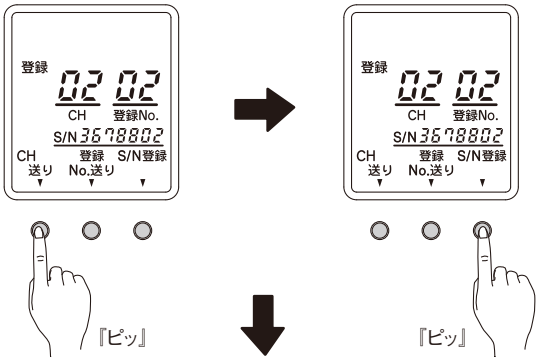
※既に登録がある場合、登録No.の最も若い番号の内容が表示されます。“登録No.送り”ボタンを押すことにより順次登録された内容（登録No.、シリアルNo.(S/No.)）を表示することもできます。



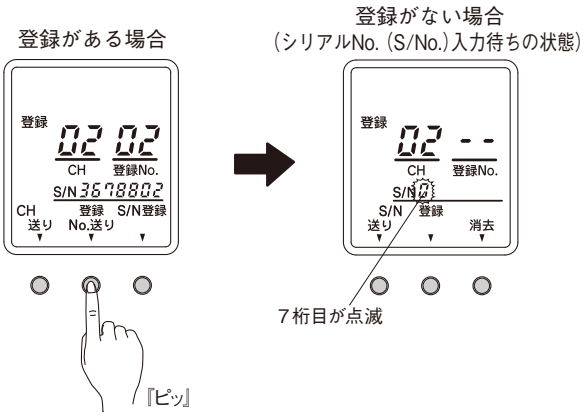
⑤“CH送り”ボタンを押し、登録したいCHを選択後、“S/N登録”ボタンを押してください。

“CH送り”を押すと、以下のように切り替わります。

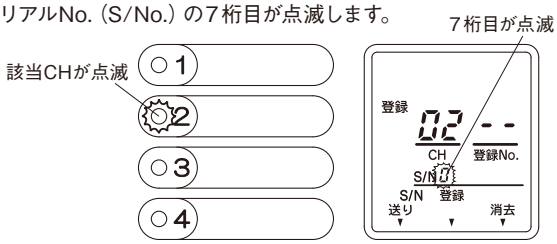
1 ⟶ 2 ⟶ … ⟶ 5



⑥「登録がない場合」は⑦の作業へ進んでください。
「登録がある場合」は“登録No.送り”ボタンを「登録がない場合」の画面になるまで押してください。



⑦シリアルNo.（S/No.）の７桁目が点滅します。

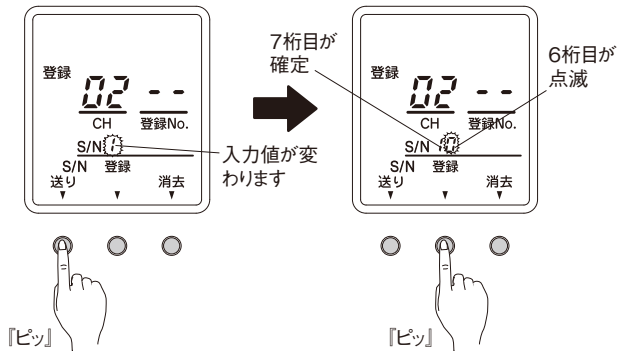


登録No.の表示

登録No.表示	内　　容
--	該当CHに送信機が登録されていない
E0	該当送信機が既に他のCHに登録済である
E1	送信機の登録台数が60台をこえている

⑧“S/N送り”ボタンを押し、登録したい送信機のシリアルNo.(S/No.)を全桁入力してください。

“S/N送り”：入力値が０～９に変わります。
“登録”　　：入力値を確定できます。
“消去”　　：１文字戻って再入力できます。

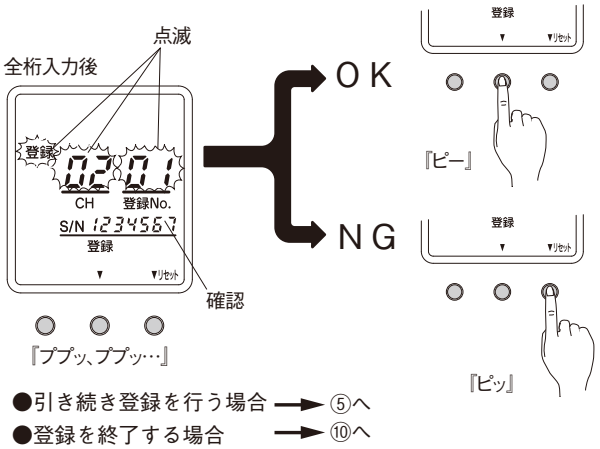


※シリアルNo.(S/No.)は送信機個別の番号で型式銘板に記載されています。詳しくは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

※シリアルNo.(S/No.)が“７桁”の場合 S/N 1234567
※シリアルNo.(S/No.)が“６桁”の場合 S/N0 123456
頭に“０”を付けてください。

⑨全桁入力後シリアルNo.(S/No.)が正しいか確認してください。

OK：“登録”ボタンを押し、登録を確定させてください。
NG：“ﾘｾｯﾄ”ボタンを押し、⑧から全桁入力し直してください。

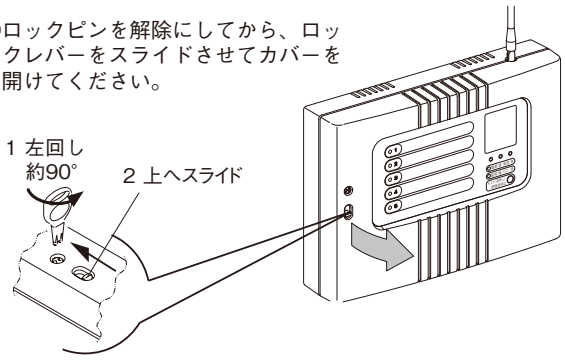


●引き続き登録を行う場合 ⟶ ⑤へ
●登録を終了する場合 ⟶ ⑩へ

⑩登録終了後［モード切替スイッチ］を押して、“通常モード”にしてください。５分間何も操作がない場合は、自動的に“通常モード”に戻ります。
⑪シリアル No.(S/No.) 登録後、必ず警報信号を受信させてください。受信させない場合は“定期送信異常報知機能”が正常に動作しません。
※登録済みの送信機から信号を受信した場合“通常モード”に復帰時にメモリー動作を行います。（→***8-16*** メモリー機能）

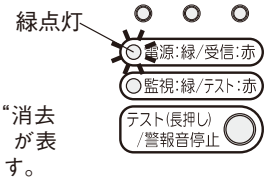
4-3 消去

①ロックピンを解除にしてから、ロックレバーをスライドさせてカバーを開けてください。

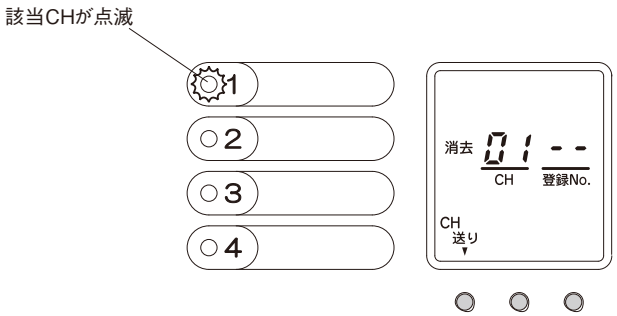


②［***6*** 配線方法］の項を参照の上、本機に配線を接続して電源を投入してください。［電源／受信表示灯］が“緑点灯”します。

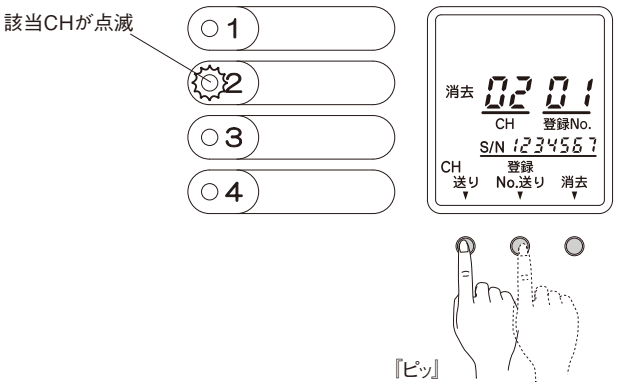
※カバー開時は右図のような液晶表示となり、タンパー異常出力を行います。



③［モード切替スイッチ］を押し“消去モード”にしてください“消去”が表示され、CH表示灯が“点滅”します。



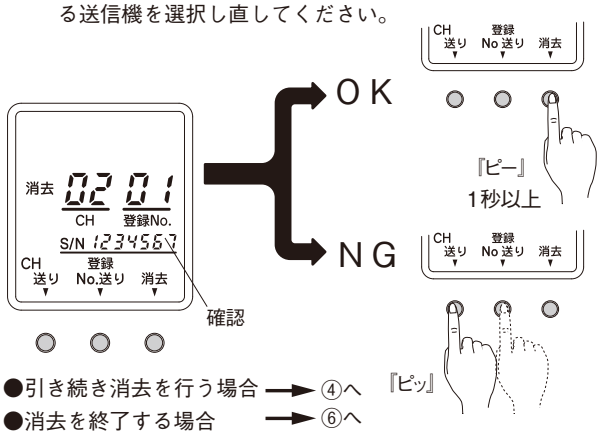
④“CH送り”“登録No.送り”ボタンを押し、消去したい送信機を表示させてください。



全消去	“消去”ボタンを押しながら“登録No.送り”ボタンを３秒以上長押しすると「ピー」と鳴動し、全ての登録内容が消去されます。

⑤表示させたシリアルNo.(S/No.)が正しいか確認してください。

OK：“消去”ボタンを押し、確定させてください。
NG：“CH送り”“登録No.送り”ボタンを押し、④から消去する送信機を選択し直してください。



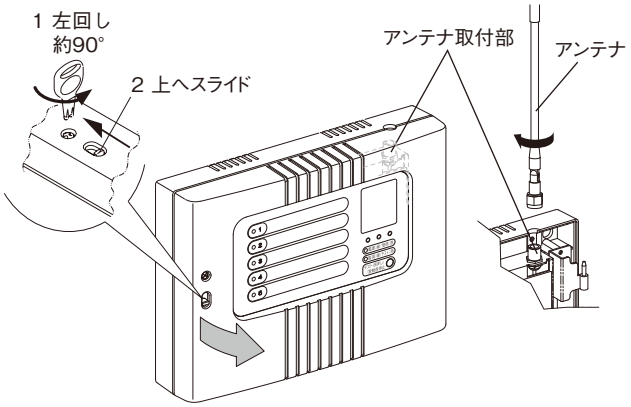
●引き続き消去を行う場合 ⟶ ④へ
●消去を終了する場合 ⟶ ⑥へ

⑥消去終了後［モード切替スイッチ］を押して“通常モード”にしてください。５分間何も操作がない場合は、自動的に“通常モード”に戻ります。

5 取付方法

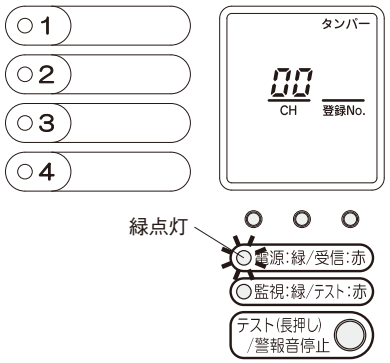
●本設置の前に以下にしたがって受信レベル、妨害波を確認して設置場所を選んでください。
●登録した送信機から電波を送信し、電波の受信状態が良好な場所に本機を設置してください。

①ロックピンを解除にしてから、ロックレバーをスライドさせてカバーを開けて付属のアンテナを確実に取り付けてください。



②［***6*** 配線方法］の項を参照の上、本機に配線を接続して電源を投入してください。［電源／受信表示灯］が“緑点灯”します。

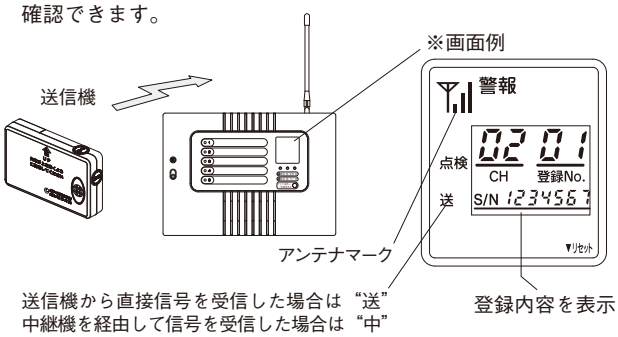
※カバー開時は右図のような液晶表示となり、タンパー異常出力を行います。



③［モード切替スイッチ］を押し“点検モード”で登録してある送信機（リモコン）、中継機から警報信号の受信レベルを確認し“電波環境点検モード”で周囲からの妨害波による影響を確認して、設置場所を選んでください。

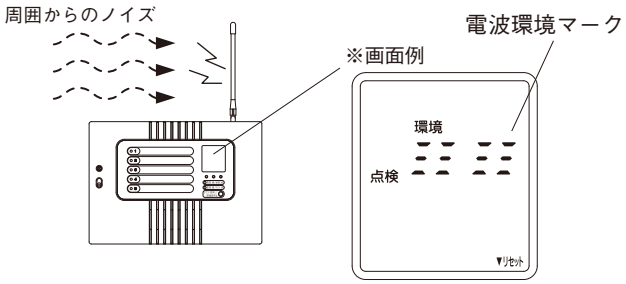
注意：電波の受信状態が悪いと、受信できなくなることがあります。

“点検モード”にて送信機、中継機からの電波の受信レベルを確認できます。



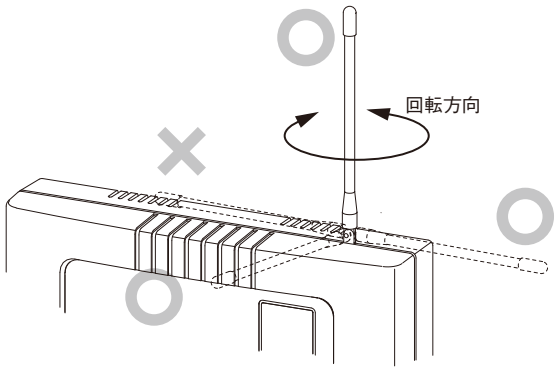
アンテナマーク	報知音	受信の状態
	プップッ プップッ ～ プップッ プッ	受信レベルに問題ありません。
	プップッ ～ プッ	受信レベルに問題あります。 設置場所を変更してください。

“電波環境点検モード”にて設置場所の周囲の妨害電波のレベルを点灯する［電波環境マーク］により確認できます。



電波環境マーク	報知音	受信の状態
	無音	◎ 妨害波はありませんので運用上問題ありません。
	ピッ、ピッ、…	○ 妨害波からの影響が少なく運用上問題ありません。
	ピピ…	× 妨害波の影響が強いので非常に強い電波しか受信できません。状況に応じて設置変更などを行ってください。
	ピー	× 妨害波の影響がかなり強いのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。

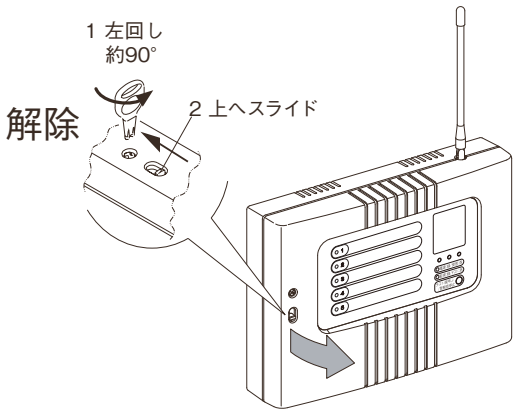
アンテナの調整方法



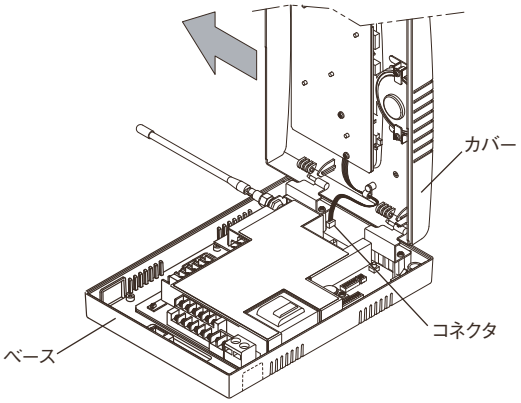
●本機のアンテナは通常、垂直方向にして使用します。本機を高所に設置され、アンテナが天井面などに当たる場合は水平方向に倒してください。また、アンテナの角度を変えることにより多少受信エリアが変わる場合がありますので状況に応じて調整してください。ただし、内側横方向に向けると感度が低下しますので、内側横方向には向けないでください。

④電源を停止して、一度配線材をはずしてください。

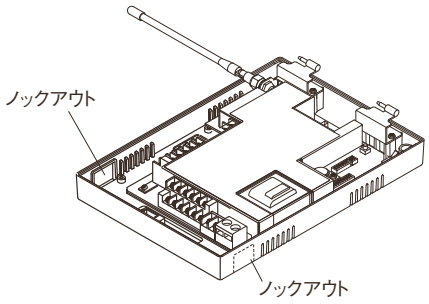
⑤ロックピンをキーで回して解除（左回し約90°）してから、ロックレバーをスライドさせて、カバーを開けてください。



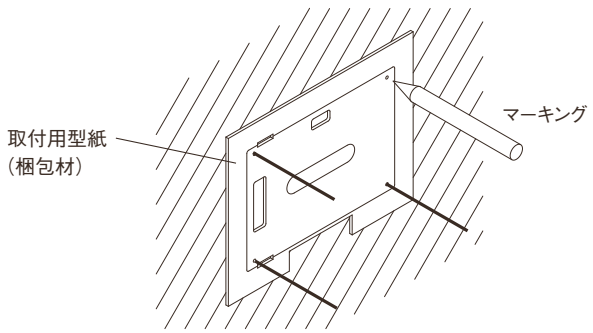
⑥接続コードのコネクタをはずしてから、カバーをスライドさせベースと分離してください。



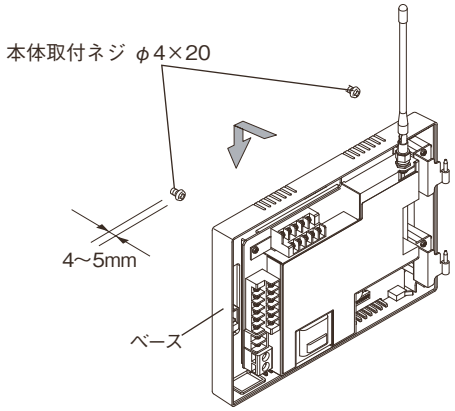
⑦露出配線をする場合は、配線を考慮して必要なノックアウトを破ってください。



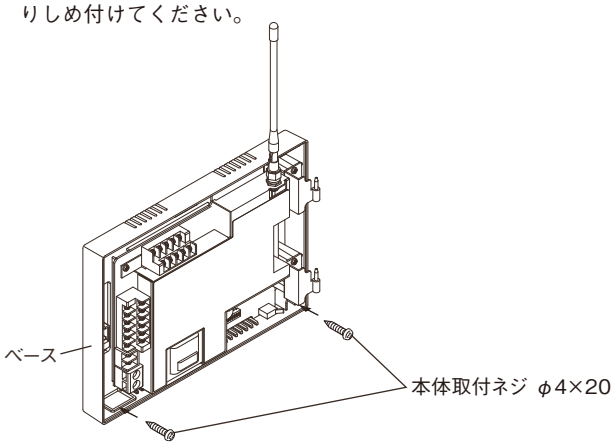
⑧取り付けようとする位置に、取り付け用型紙をあててネジ位置および入線口にマーキングしてください。



⑨付属のタッピングネジ２本を上部２ケ所に首下４～５mmまでねじ込み、ベース上部のダルマ穴に引っ掛けてください。

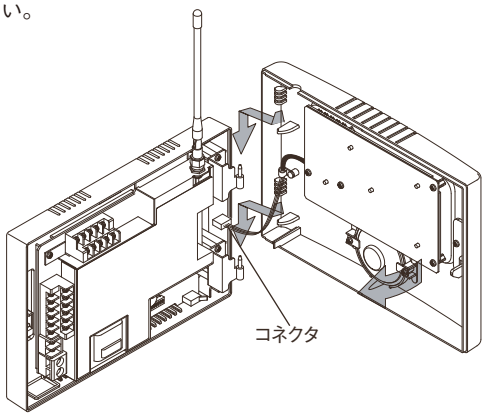


⑩ベース下部の穴にもネジを取り付けてすべてのネジをしっかりしめ付けてください。



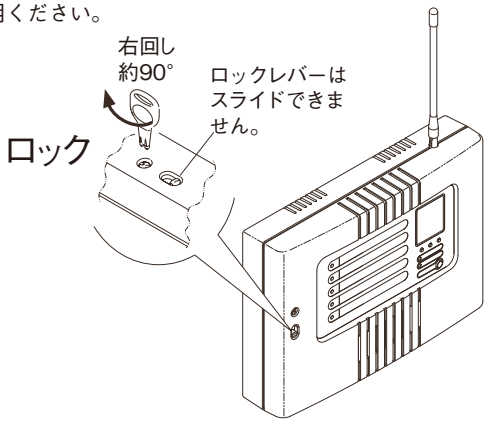
⑪［***6*** 配線方法］の項を参照のうえ本機への配線、［***8*** 機能説明］を参照のうえ機能の設定を行ってください。

⑫本体のヒンジにカバーをスライドさせて入れてから、本体とカバーの接続コードのコネクタを接続し、カバーを閉めてください。



⑬ロックピンをキーで回して、カバーをロック（右回し約90°）してください。

※必要に応じて付属の表示ステッカーに場所や名前などを記載してご使用ください。



6 配線方法

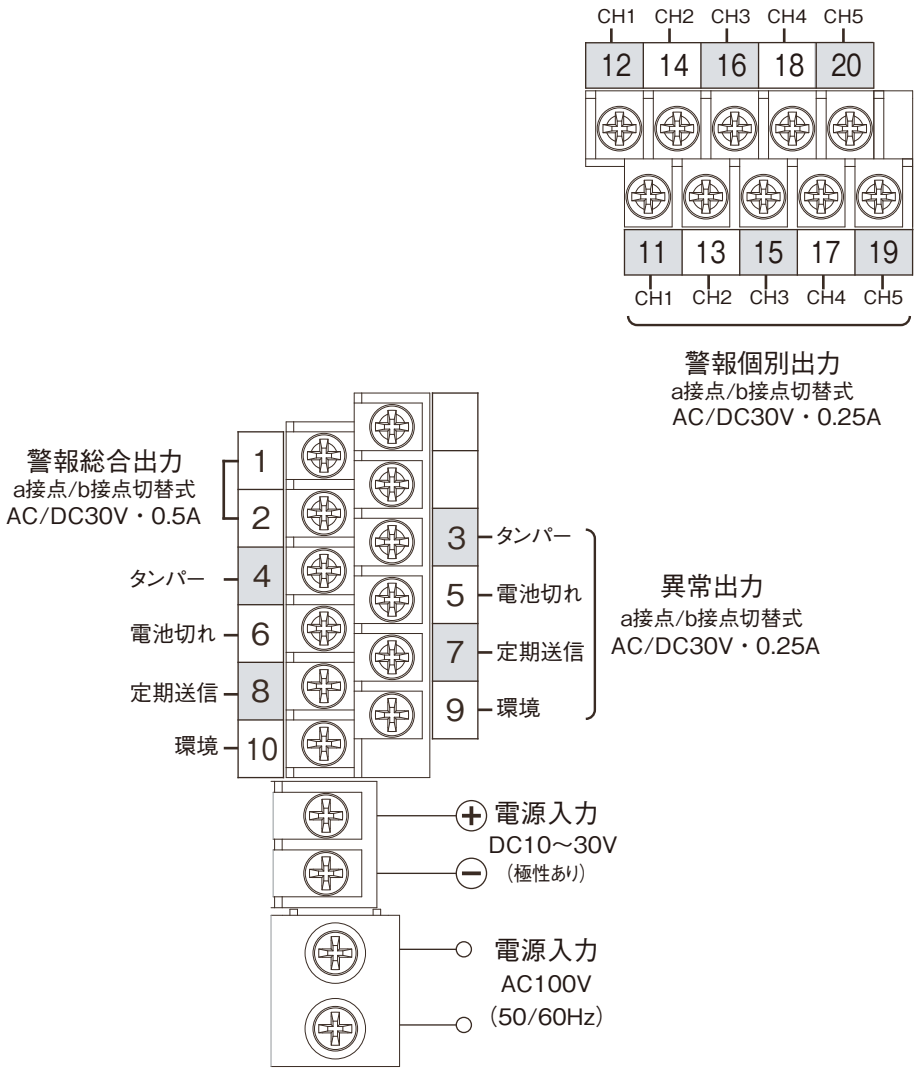
端子配列

注意：①警報総合出力は、警報個別出力（CH1～CH5）の一括出力です。
異常出力時（タンパー、電池切れ、定期送信、環境）は警報総合出力は出力しません。

②本ユニットには、停電補償回路は内蔵されておりません。停電補償が必要な場合は、バッテリーバックアップ付の直流電源や無停電電源などを接続してください。

③接続する制御機器やコントローラの施工マニュアル、取扱説明書も参照のうえ、配線、接続を行ってください。

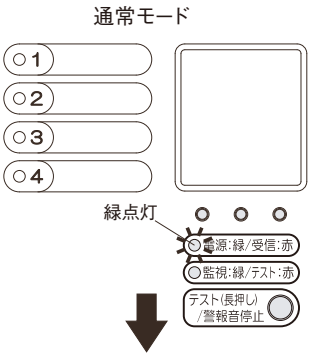
④電話回線などに接続する場合は、必ず技術基準適合認定品の非常通報装置を使用してください。



7 動作確認

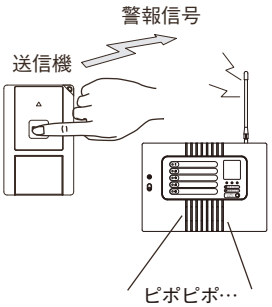
①本機に電源を投入し“通常モード”で［電源／受信表示灯］が緑色で点灯していることを確認してください。

※CH表示灯（赤色）が連続して点滅する場合は、受信環境不良です。妨害波を発生している機器が近くにあると思われます。その場合は近くの機器の電源を順次停止していき、停止した時点で赤色の点滅が消灯すれば、その時点で停止した機器からの妨害波が原因と思われます。その機器を遠くへ移動するか、本機を移動するなどの処置を行ってください。



②カバーを閉め送信機より警報信号を送信させてください。

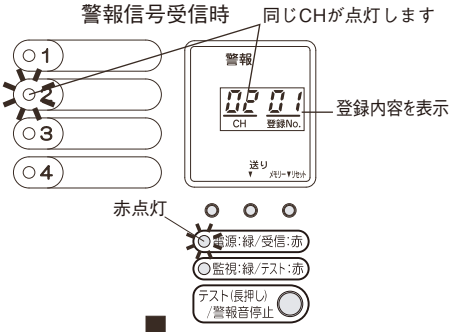
※送信方法は、各送信機の取扱説明書をご覧ください。



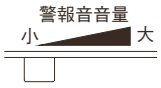
③警報信号を受信すると液晶表示を約10秒（鳴動時間の設定による）行い、それと同時に［電源／受信表示灯］が約４秒“赤色”に点灯します。
表示内容を確認してください。

※リモコン送信機 RS-001から電波を受信しても液晶表示や警報動作は行いません。

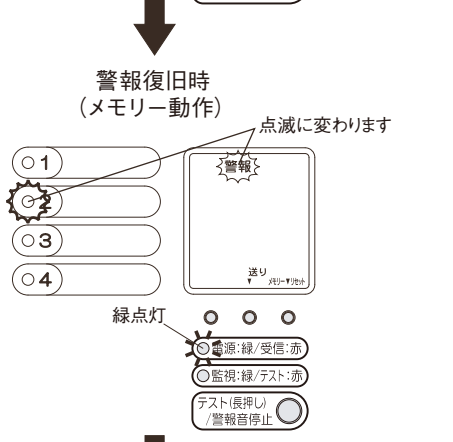
該当する送信機の
- “CH” “登録No.”の液晶表示
- ［CH表示灯］の“点灯”
- ［警報個別出力］［警報総合出力］からの出力



④警報音の音量を調整してください。



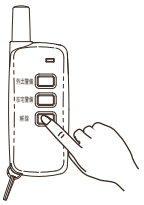
※受信状態が悪い場合は、警報信号の受信時に該当CHのCH表示が約4秒間点滅してお知らせします。



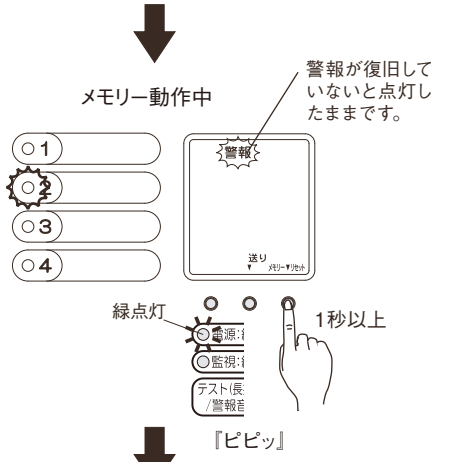
⑤警報動作終了後、メモリー動作を行います。

※警報を設定時間以内に停止する場合は［警報音停止］ボタンを押してください。警報が停止します。

※弊社製「リモコン送信機・RS-001」を本機に登録された場合は“解除”を押すと警報音が停止できます。

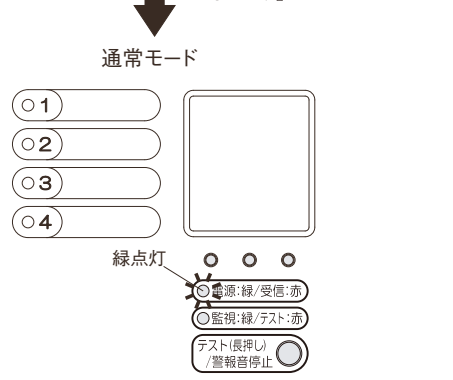


※個々の送信機からの電波到達状態（受信レベルなど）を確認される際は“点検モード”にして確認してください。［***8-19*** 点検モード］の項を参照。



⑥“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”を１秒以上押すとメモリー動作が停止し”通常モード”に戻ります。

※この際、タンパー、電池切れの各異常信号受信後、および定期送信異常発生後、各異常を復旧しないとメモリー動作を終了することはできません。

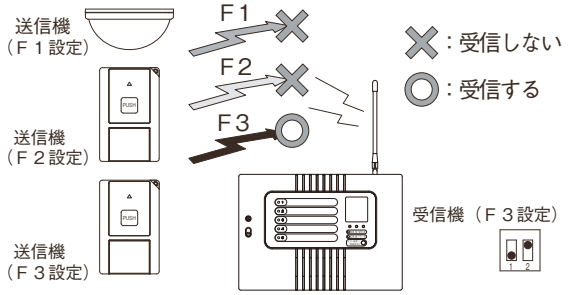


8 機能説明

●機能の内容、設定方法を説明します。
以下をご参照のうえ機能を設定してください。

8-1 受信周波数切替機能

●受信する周波数を“Ｆ１～Ｆ４”の内から選択することで、電波の混信を緩和する機能です。



受信周波数設定スイッチ
（出荷時：Ｆ１）

周波数	Ｆ１	Ｆ２	Ｆ３	Ｆ４
スイッチ位置	1 2	1 2	1 2	1 2

注意：周波数設定機能のない機器の周波数は“Ｆ１”ですので、その場合は“Ｆ１（出荷時設定）”に設定してください。
Ｆ１以外の設定にすると受信しませんので、ご注意ください。

8-2 警報音切替機能

●警報信号受信時に鳴る音の選択ができます。

機能設定スイッチA

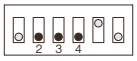
『ピポピポ』『ピンポン』

（出荷時設定）

8-3 鳴動時間切替機能

●警報信号受信時に音の鳴る時間を設定できます。（リトリガー動作ではありません）
※警報音停止ボタンを押すことで、時間内に停止することができます。

機能設定スイッチA
(出荷時：『10秒』)

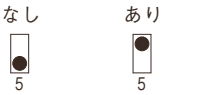


鳴動時間	10秒	30秒	60秒	90秒
スイッチ位置	2 3 4	2 3 4	2 3 4	2 3 4
鳴動時間	2分	3分	5分	連続
スイッチ位置	2 3 4	2 3 4	2 3 4	2 3 4

8-4 電池切れ音報知機能

●送信機からの電池切れ異常の信号を受信した場合、液晶表示および［電池切れ異常出力］と連動してブザーを鳴動させるかどうかの設定ができます。ブザー音：『ピッ』（20秒毎）

機能設定スイッチA

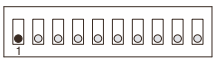


（出荷時設定）

8-5 異常出力接点切替機能

●接続する各種通報機やコントローラなどの入力に応じて、異常出力（タンパー、電池切れ、定期送信、環境）の接点を一括で“ａ接点”か“ｂ接点”に設定できます。

機能設定スイッチB



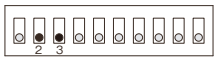
（出荷時設定）

注意：個別には設定できません。

8-6 定期送信異常出力機能

●定期送信を受信しなかった場合に定期送信異常出力を出力するかを設定できます。
下記4通りの中から選択してください。

機能設定スイッチB



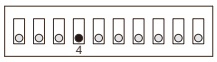
定期送信異常出力	すべての送信機を監視する	携帯型送信機は監視しない	携帯型および接点型送信機は監視しない	すべての送信機を監視しない
スイッチ位置				

（出荷時設定）

8-7 警報復旧信号切替機能

●接点入力型送信機からの警報信号を受信した後、復旧信号を受信するまで［警報個別出力］［警報総合出力］を出力し続けるかどうかの設定を行います。
“有効”を選択すると復旧信号を受信するまで［警報個別出力］［警報総合出力］を出力します。“無効”を選択すると復旧信号を無視し、警報信号を受信したときのみ［警報個別出力］［警報総合出力］を出力します。

機能設定スイッチB



有効

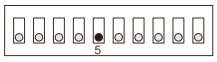
無効

（出荷時設定）

8-8 警報総合出力接点切替機能

●接続する各種通報機やコントローラなどの入力に応じて、総合出力の接点を“ａ接点”か“ｂ接点”に設定できます。

機能設定スイッチB



b接点

a接点

（出荷時設定）

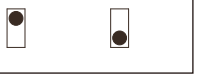
8-9 警報個別出力接点切替機能

●接続する各種通報機やコントローラなどの入力に応じて、CH毎の個別出力の接点を“ａ接点”か“ｂ接点”に設定できます。

（出荷時：b接点）

6……CH1
7……CH2
8……CH3
9……CH4
10……CH5

a接点　b接点



8-10 動作テスト機能

●テストボタンを長押し（約3秒間）することで、動作テストモードとなり、送信機と受信機間の動作テストをすることができます。
このモードでは送信機からの信号を受信した場合、警報音の鳴動のみを行い
接点出力は行いません。

動作テスト中の警報音は「ピピッ、ピピッ」となります。

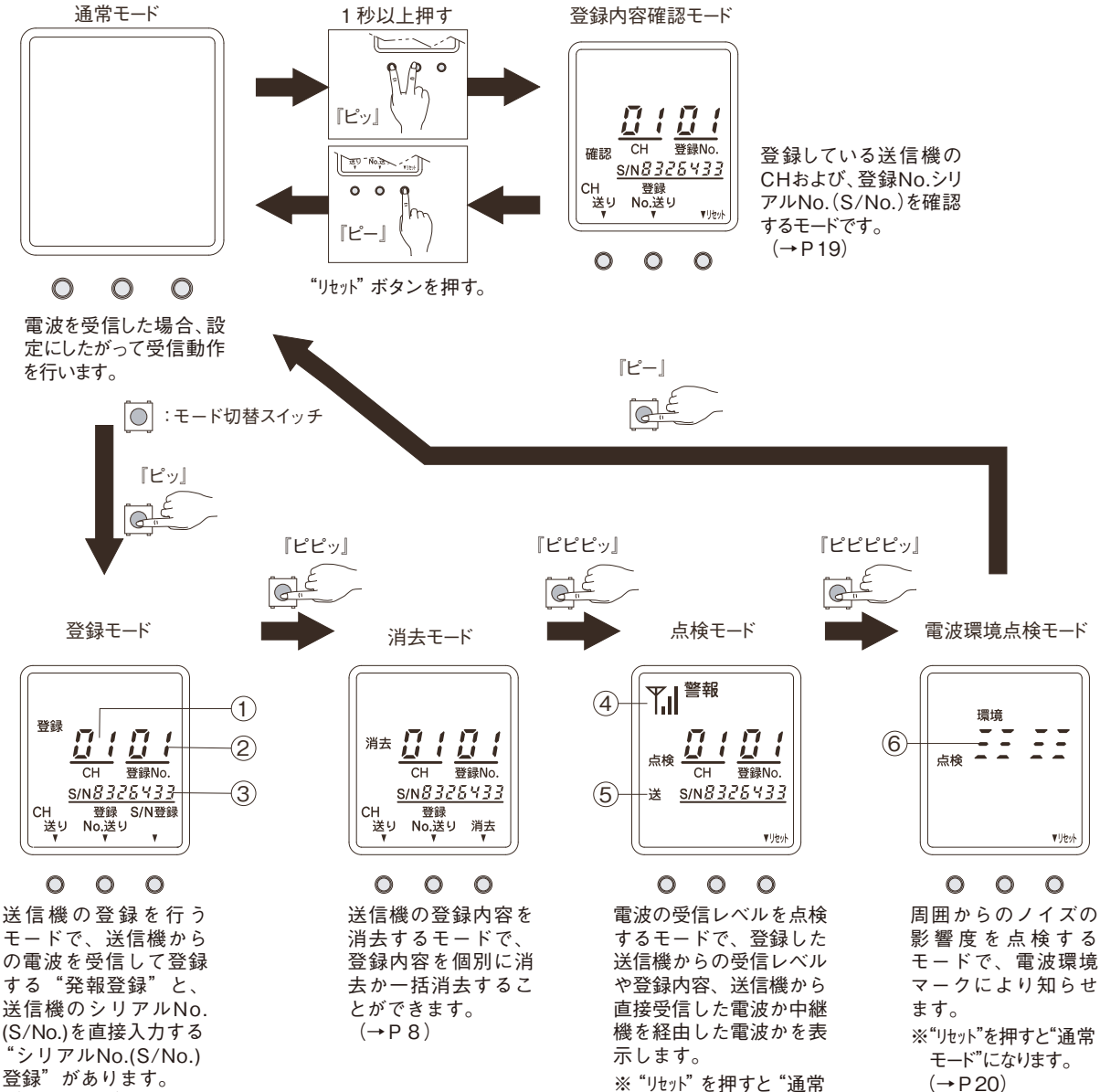
動作テストモードを解除（通常モードに戻る）する場合は、再度長押し（約3秒間）をしてください。
また、5分間電波を受信しなかった場合は自動的に通常モードに戻ります。

赤点灯

長押し（約3秒間押す）

8-11 モード切替機能

●［モード切替スイッチ］を押すことで、下図のようにモードの切替ができる機能です。
※各モード中５分間何も操作がない場合は、自動的に“通常モード”となります。



① CH表示
登録しているCHを表示

② 登録No.表示
本機に登録している送信機の順番を表示

③ シリアルNo.（S/No.）表示
登録している送信機のシリアルNo.(S/No.)を表示

④ アンテナマーク
電波の受信レベルに応じて表示

⑤ 電波経路表示
送信機から直接受信した場合“送”
中継機を経由して受信した電波“中”

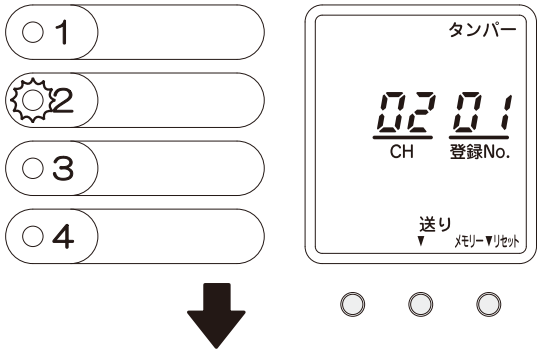
⑥ 電波環境マーク
電波の受信レベルに応じて表示

8-12 タンパー異常報知機能

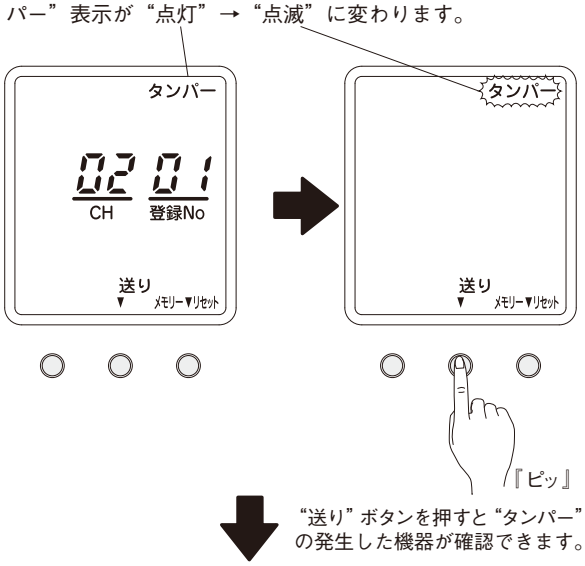
●本機に登録した送信機のカバーが開いているとタンパー出力のある機器からの信号を受信し、表示および［タンパー異常出力］からの出力によりお知らせします。

本機に登録してある送信機のカバーが開いている場合

①タンパー発生すると［タンパー異常出力］から復旧するまで出力を行い下図の表示となります。

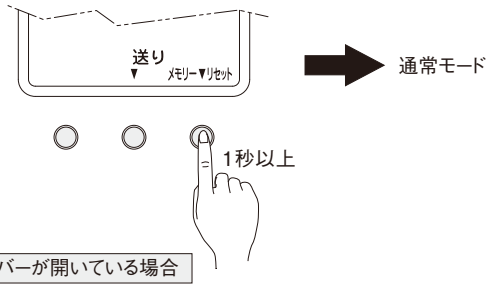


②タンパー異常発生機器のカバーを閉じてください。“タンパー”表示が“点灯”→“点滅”に変わります。

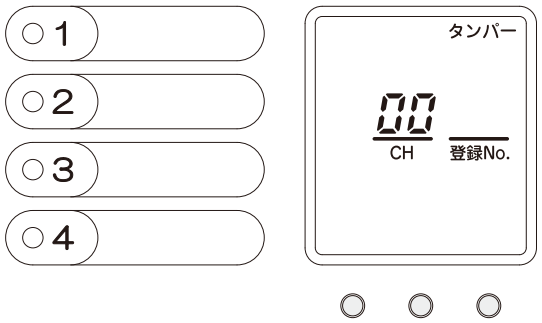


“送り”ボタンを押すと“タンパー”の発生した機器が確認できます。

③“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”ボタンを１秒以上押すと液晶の“タンパー”と［CH表示灯］の点滅が消え、“通常モード”になります。



本機のカバーが開いている場合



①本機のカバーが開いている場合も同様に液晶表示、タンパー出力を行います。

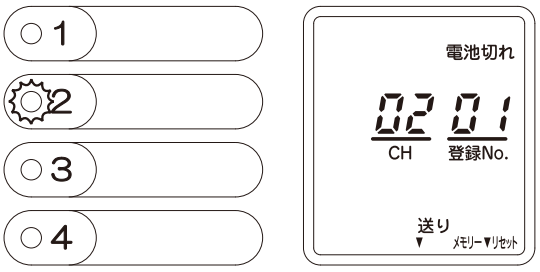
②カバーを閉じると、タンパー出力は停止し、液晶の表示は消えます。

8-13 電池切れ異常報知機能

●各送信機の電池が消耗し電圧が低下した場合、定期送信や警報信号などに情報を付加して送信し、液晶表示とCH表示灯、および電池切れ出力によりお知らせします。

注意：電池切れ異常が発生した場合は、速やかに送信機の電池を新しいものと交換してください。放置されますと送信機がまったく動作しなくなったり異常動作を起こす原因となりますのでご注意ください。

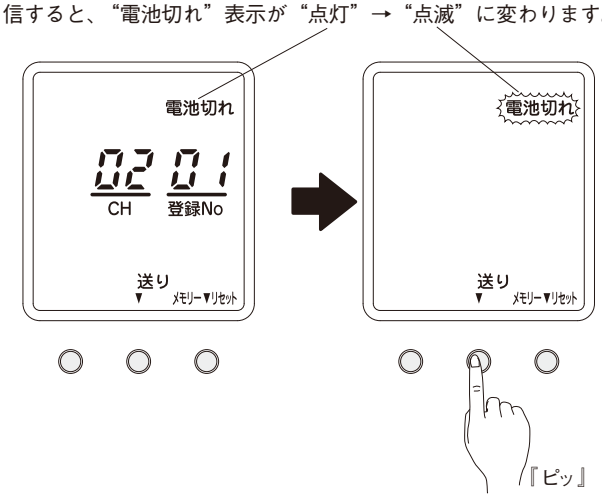
①電池切れが発生すると［電池切れ異常出力］から復旧するまで出力を行い下図の表示となります。



20秒に一回『ピッ』

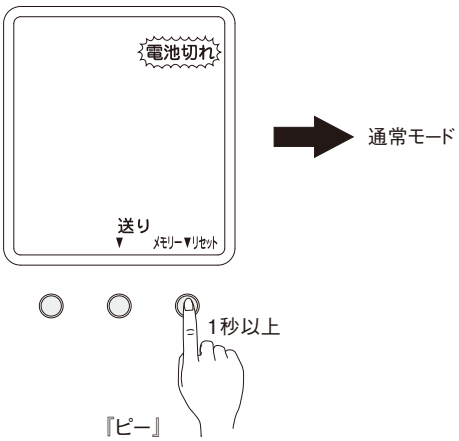
機能設定スイッチA-５
電池切れ音鳴動「あり」（出荷時設定）

②“電池切れ”表示の送信機の電池を新しい物に交換し信号を送信すると、“電池切れ”表示が“点灯”→“点滅”に変わります。



“送り”ボタンを押すと“電池切れ”の発生した機器が確認できます。

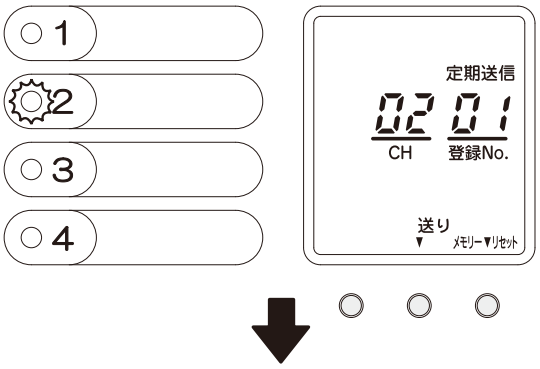
③“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”ボタンを１秒以上押すと“電池切れ”と［CH表示灯］の点滅が消え、“通常モード”になります。



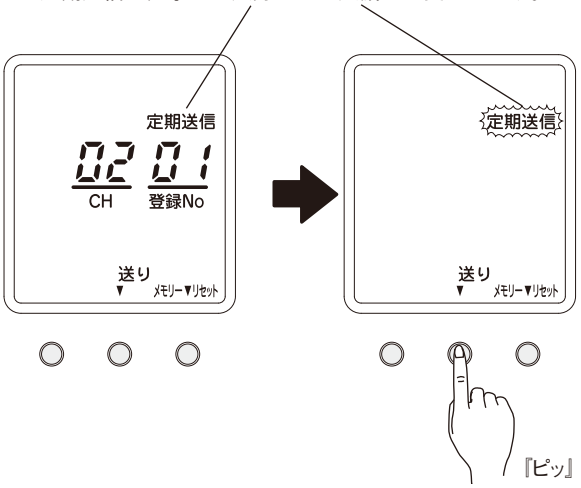
8-14 定期送信異常報知機能

●送信機からの電波が本機に正常に伝えられているかを定期的に送信される信号を受信し、チェックします。周辺状況の変化などで万一電波が届かなくなった場合や送信機の故障、盗難などがあった場合、液晶表示とCH表示灯、および定期送信異常出力によりお知らせします。

①定期送信異常出力をすべての送信機で監視する場合、携帯型送信機は24時間、接点入力型送信機・パッシブセンサーは12時間以上定期送信が受信できないと定期送信異常から復旧するまで出力を行い、下図の表示となります。

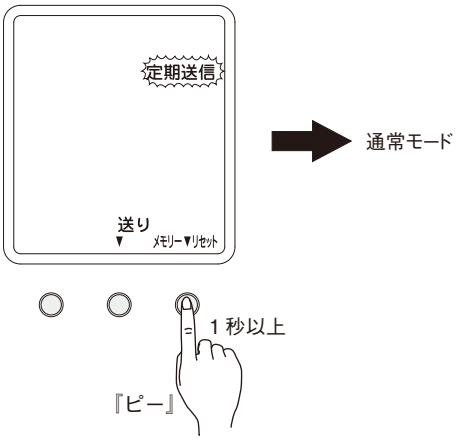


②定期送信異常を表示している送信機から定期送信か警報信号を送信してください。
“定期送信”表示が“点灯”→“点滅”に変わります。



“送り”ボタンを押すと“定期送信”の発生した機器が確認できます。

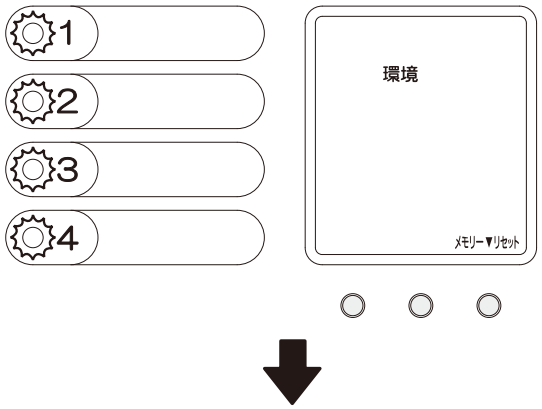
③“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”ボタンを1秒以上押すと“定期送信”と［CH表示灯］の点滅が消え“通常モード”になります。



8-15 環境異常報知機能

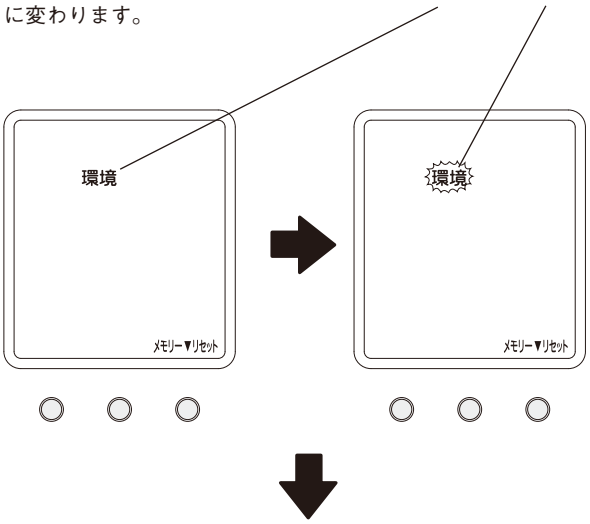
●妨害波など何らかの電波を一定時間以上連続して受信した場合、液晶表示および、環境出力によりお知らせします。 周囲より電波環境マークのバー2本以上のノイズを60秒以上受信すると、環境異常出力を行い、下図の表示となります。

①環境異常が発生すると［環境異常出力］から復旧するまで出力を行い下図の表示となります。

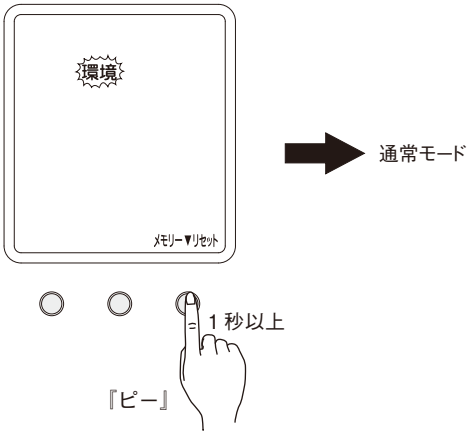


※妨害を与えている機器を特定するには、本機の周辺の電気機器の電源を順次停止していき、［電源／受信表示灯］が赤色点灯から、緑色点灯に変われば、その時点で電源を停止した機器が原因と考えられます。

②原因が取り除かれると、“環境”表示が“点灯”→“点滅”に変わります。



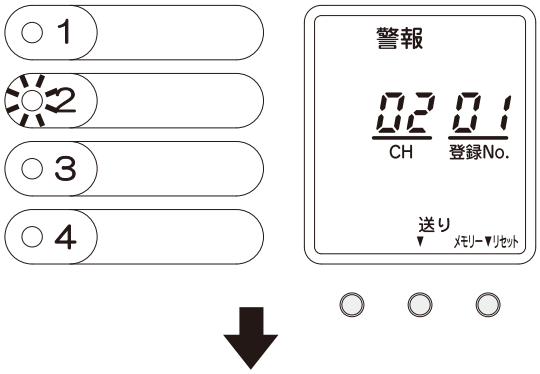
③“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”ボタンを1秒以上押すと“環境”の点滅が消え“通常モード”になります。



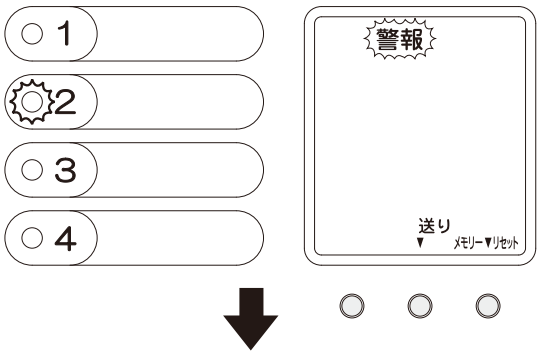
8-16 メモリー機能

●送信機からの警報信号を受信するか、異常（送信機のタンパー、電池切れ、定期送信、環境）を検知した場合、該当するCH、登録No.、および内容をメモリーします。

①警報が発生すると［警報個別出力］［警報総合出力］から出力を行い、下図の表示となります。

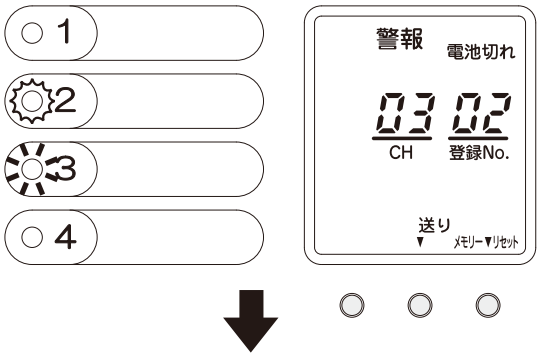


②［警報個別出力］、［警報総合出力］が停止すると、該当する［CH表示灯］が点滅を行います。

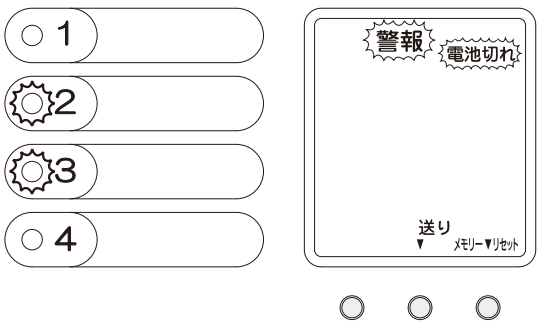


③さらに別の信号（電池切れの送信機からの警報信号）を受信した場合、警報個別出力からの出力、該当する［CH表示灯］の点灯を行います。

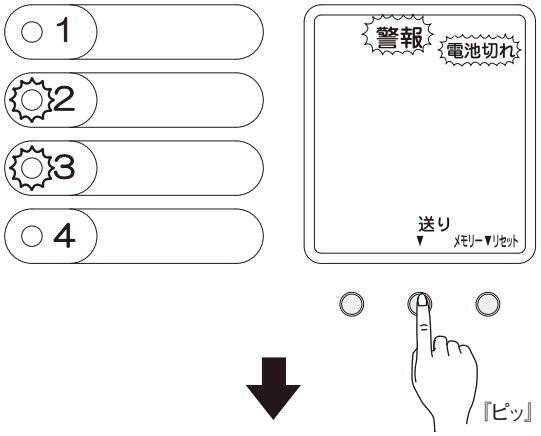
前回のメモリーは点滅を続けます。



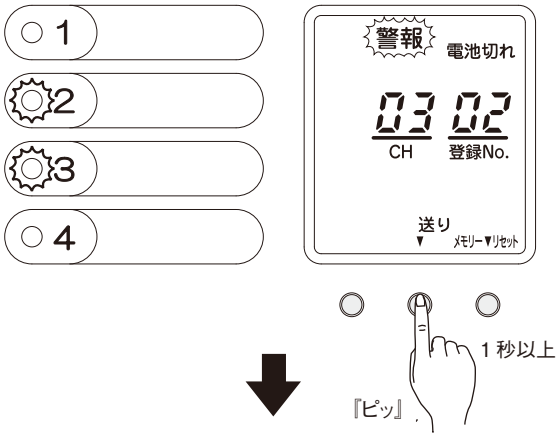
④警報が復旧すると［警報個別出力］が停止、前回の［CH表示灯］の点滅を含めた状態でメモリー動作を始めます。



⑤メモリーの履歴を見る場合、“送り”ボタンを押してください。



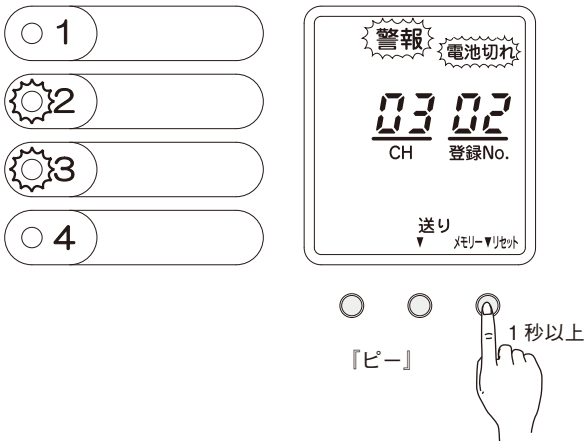
⑥“送り”ボタンを押すことにより、最新のメモリーから順に古いものを表示することができます。



④メモリーを全てリセットする場合は“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”ボタンを１秒以上押してください。

注意：メモリーの個別消去はできません。

《注意》
“タンパー”“電池切れ”“定期送信”のいずれかが点灯していると、そのCHのメモリーを消すことはできません。メモリーを消すには原因を取り除いてから“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”を１秒以上押してください。

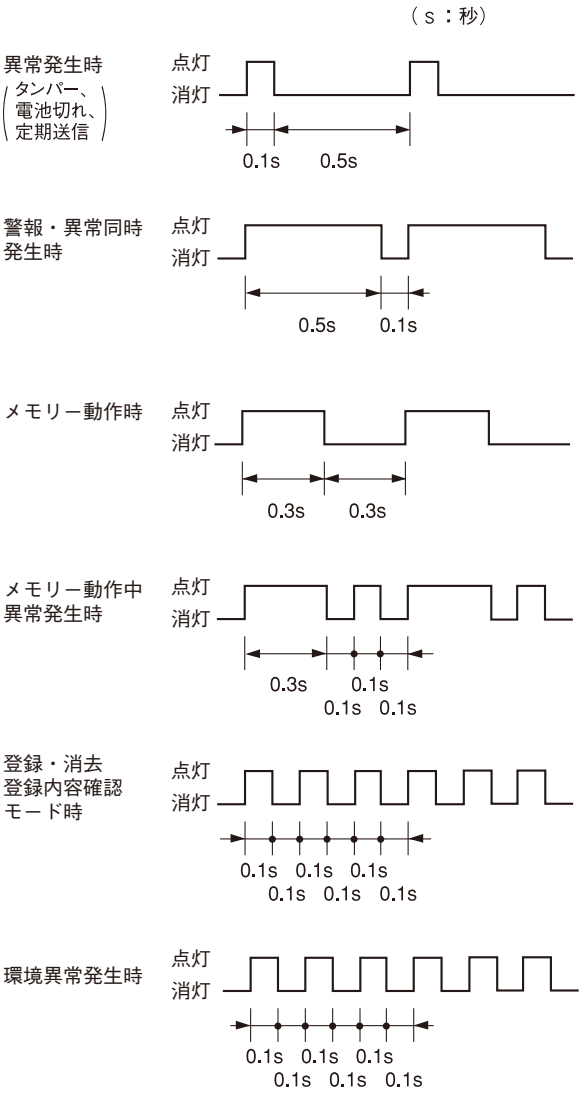


※液晶表示設定が非表示の場合は、液晶表示は行いませんがメモリー機能は働きます。
メモリー内容を確認する場合は、液晶表示設定を一度“表示”に設定することで可能となります。
また“ﾒﾓﾘｰﾘｾｯﾄ”を行う場合も一度“表示”に設定してから行ってください。

8-17 LED表示機能

CH表示灯の点滅パターン

●CH表示灯は状況によって以下のような点滅動作を行います。



電源／受信表示灯の点滅パターン

電源／受信表示灯は、電源が投入されると緑色に点灯し、本機の設定している周波数の電波を受信したときだけ、赤色点灯に変わります。

登録している送信機や中継機からの警報、タンパー、定期送信などの電波を正常に受信した場合の他に、妨害波や登録していない送信機・中継機からの電波を受信した場合も赤色点灯します。

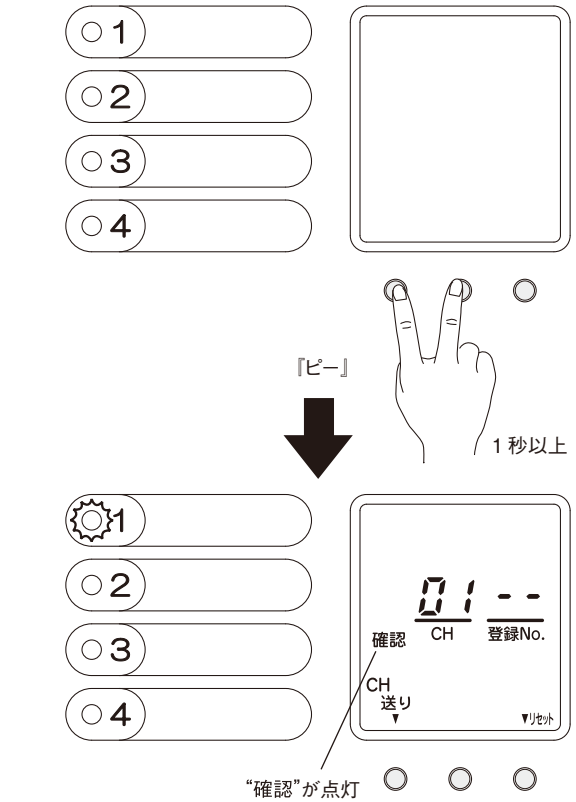
本機が妨害波や登録していない送信機・中継機からの電波を受信し、連続して赤色点灯する場合、そのまま運用されると、誤動作、不動作の原因となります。
妨害電波を出している機器を特定しそれを遠ざけるか、設置場所を変更してください。

※妨害を与えている機器を特定するには、本機の周辺の電気機器の電源を順次停止していき、［電源／受信表示灯］が赤色点灯から、緑色点灯に変われば、その時点で電源を停止した機器が原因と考えられます。

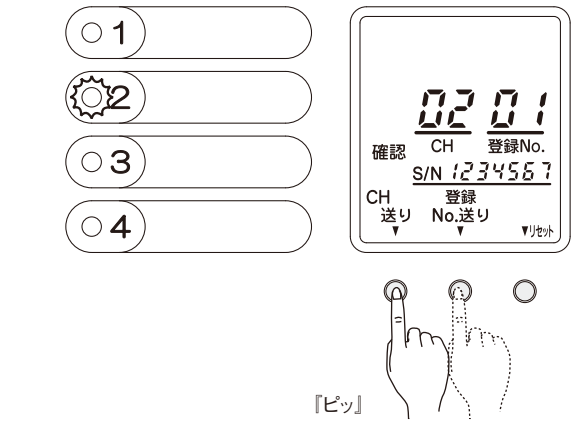
8-18 登録内容確認モード

●登録されている送信機のCHおよび、登録No.を確認することができます。
※この間［モード切替スイッチ］による操作はできません。

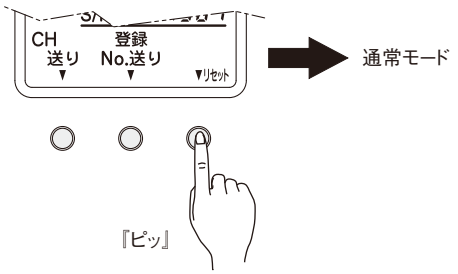
①“通常モード”中に操作ボタンの左２つを同時に１秒以上押して“登録内容確認モード”にしてください。



②“CH送り”“登録No.送り”ボタンを押して内容を確認してください。



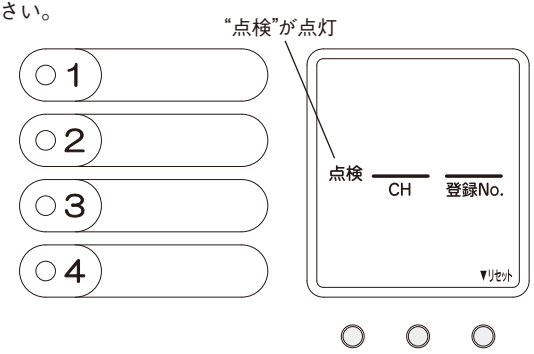
“通常モード”に復帰する場合は“ﾘｾｯﾄ”を押してください。
（５分間何も操作がない場合は、自動的に“通常モード”となります）



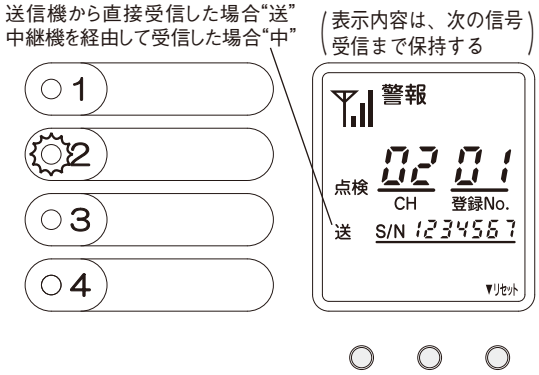
8-19 点検モード

●固定設置する送信機からの電波受信レベルを点検するためのモードです。携帯型送信機の場合は、送信場所が特定できないので受信レベルについてはおおよその目安程度としてください。

①［モード切替スイッチ］を押して“点検モード”にしてください。



②登録されている送信機から警報信号を送信してください。
受信すると、警報、CH、登録No.、シリアルNo.、アンテナマーク、送信機から直接受信した信号か、中継機を中継して受信した信号かを表示、報知音の鳴動を行います。



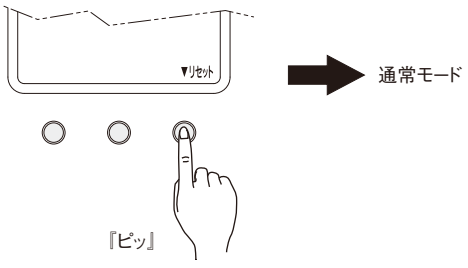
『プッ､プッ､プッ､プッ』

アンテナマーク、および報知音は、受信の状態により次の４種類ありますので、必要に応じて設置場所などの再点検を行ってください。

アンテナマーク	報知音	受信の状態
	プップッ プップッ	◎ 受信レベルは良好です。
	プップッ プッ	○ 受信レベルはやや弱いですが運用上問題ありません。
	プップッ	× 受信レベルが弱く、不安定なのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。
	プッ	× 受信レベルがかなり弱いのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。

点検中も送信機、中継機からの信号を受信するとメモリー動作を行います。

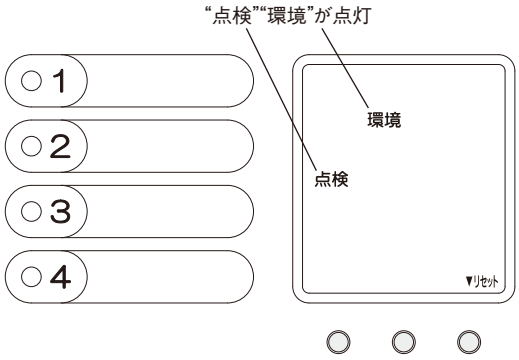
③“通常モード”に復帰する場合は“ﾘｾｯﾄ”ボタンを押してください。
（5分間何も操作がなく、登録した送信機からの電波を受信しない場合は、自動的に“通常モード”となります）



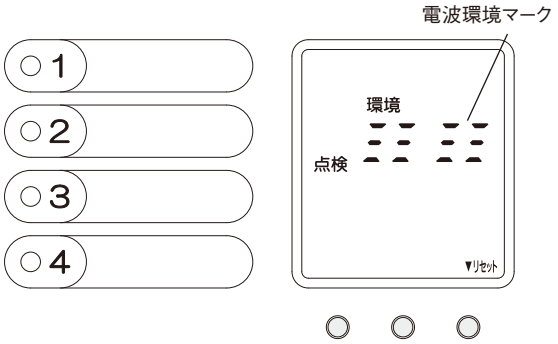
8-20 電波環境点検モード

●周囲からのノイズの影響度を点検するモードで、電波環境マークにより知らせます。

①［モード切替スイッチ］を押して“電波環境点検モード”にしてください。



②電波を受信すると、下図のような表示になります。

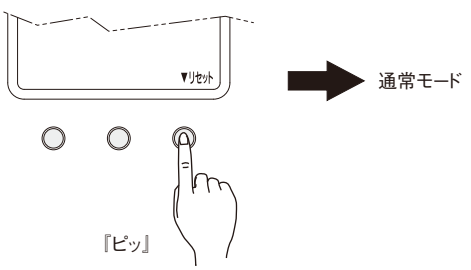


電波環境マークは、受信の状態により次の４種類ありますので、必要に応じて設置場所などの再点検を行ってください。

電波環境マーク	報知音	受信の状態
	無音	◎ 妨害波はありませんので運用上問題ありません。
	ピッ､ピッ､…	○ 妨害波からの影響が少なく運用上問題ありません。
	ピピ…	× 妨害波の影響が強いので非常に強い電波しか受信できません。状況に応じて設置変更などを行ってください。
	ピー	× 妨害波の影響がかなり強いのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。

点検中も送信機からの信号を受信するとメモリー動作を行います。

③“通常モード”に復帰する場合は“ﾘｾｯﾄ”ボタンを押してください。
（5分間何も操作がない場合は、自動的に“通常モード”となります）



9 異常時の点検一覧表

●以下の表にしたがって点検してください。
点検の結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社までお申し出ください。

状　　態	原　　因	処　　置
全く動作しない （電源表示灯消灯）	①電源が供給されていない。 （断線も含む） ②DC入力時、極性が逆である。	①配線材が正しく接続されているかを確認する。 ②極性を正しく接続し直す。
全く受信しない	①受信周波数設定スイッチが間違っている。 ②送信機が本機に登録されていない。 ③送信機と本機の距離が遠すぎる。 （100mをこえている）	①受信周波数の設定を送信機に合わす。 ②登録する。 ③送信機と本機の距離が近づくように設置を変更する、または中継機を使用する。
受信しないことがある （定期送信異常が発生する） （環境異常が発生する）	①強い電界や磁界および電気ノイズを発生する機器が近くにある。 ②送信機と本機の距離が遠すぎる、または周囲の環境が悪い。	①該当機器から遠ざけるなど設置環境を再検討する。 ②送信機と本機の距離が近づくように設置を変更するか、または中継機を使用する。
警報、異常（タンパー、電池切れ、定期送信、環境）のメモリーが消せない。	①警　　報：接点入力型送信機の接点が復旧していない。 ②タンパー：カバーが開いている。 ③電池切れ：電池の電圧が低下している。 ④定期送信：一定時間以上定期送信を受信していない。 ⑤環　　境：連続で周囲よりノイズを受信している。	①接点を復旧させ、復旧信号を受信させてから消す。 ②カバーを閉じて復旧信号を受信させてから消す。 ③新しい電池に交換し、信号を受信させてから消す。 ④定期送信、警報信号を受信させてから消す。 ⑤ノイズの原因を特定し取り除いてから消す。
電源／送信表示灯が赤色点滅動作を続ける。	・妨害波が発生している機器が近くにある。	・その機器と本機との間の距離を遠ざける。
警報音が鳴らない。	・警報音音量ボリュームが下げてある。	・警報音音量ボリュームを上げる。

日常点検

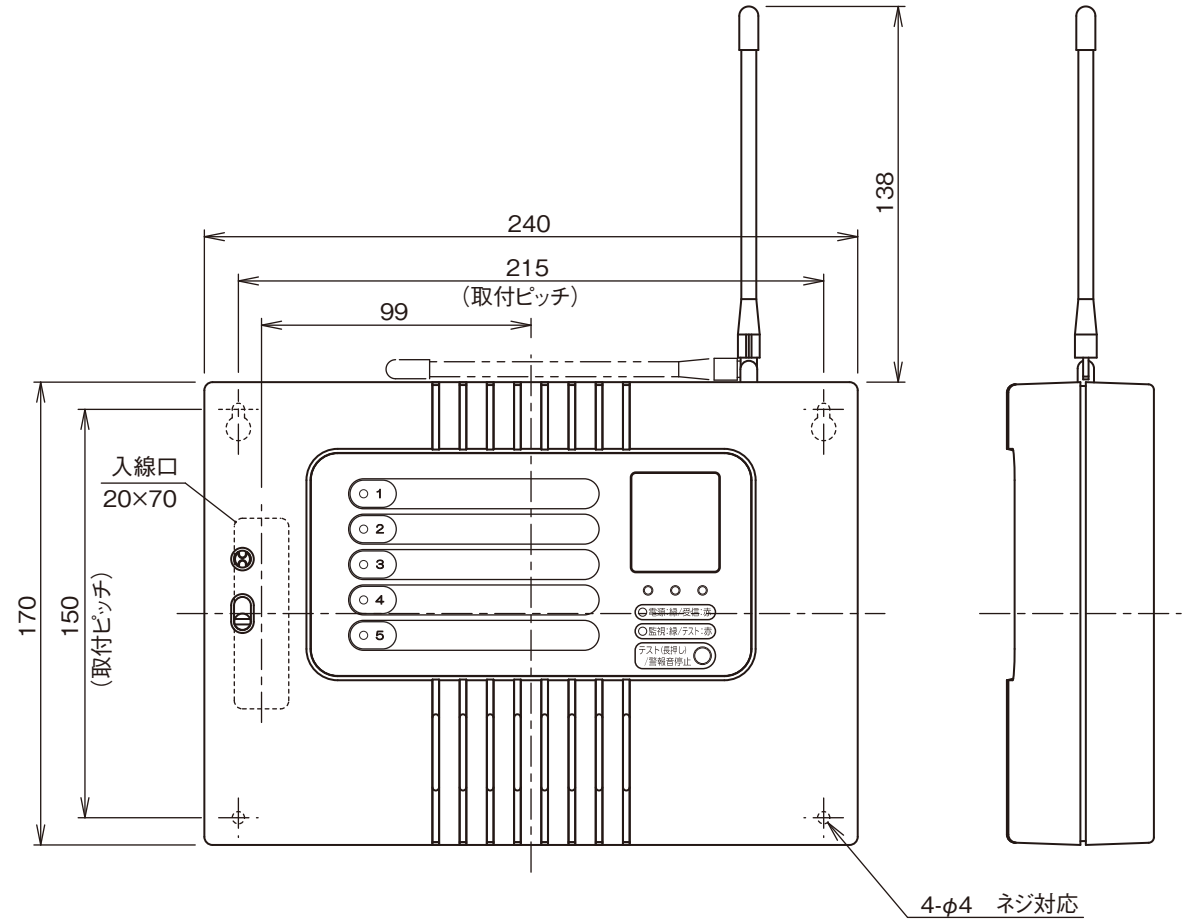
●お手入れの際は、やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふいた後、洗剤が残らないようにふき取ってください。
シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。（プラスチック部品が変形、変色、変質する場合があります）

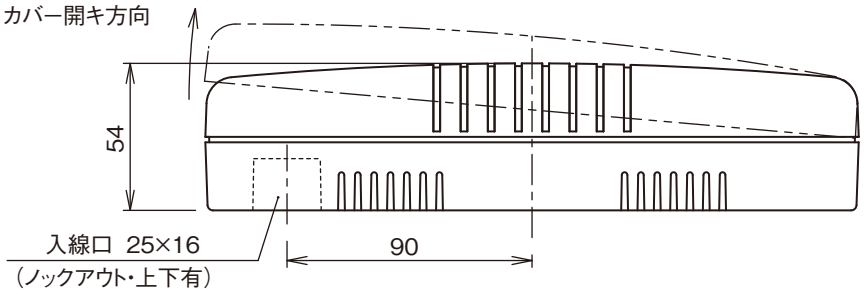
●週１回程度は定期的に動作確認をおこなってください。

10 仕様

品名	保安・設備監視用受信ユニット
品番	EXR-500
電源入力	AC100V50／60HzまたはDC10～30V（極性あり）
消費電力 （消費電流）	5W （330mA）
使用周波数帯	426MHz帯 4波（小電力セキュリティシステムの無線設備）
空中線	λ／4ホイップアンテナ
受信可能距離	約100m（見通し距離）
警報総合出力	接点方式：無電圧半導体接点　AC／DC30V・0.5A ａ接点／ｂ接点切替式（個別） 接点動作：送信機タイプが〔3：接点〕…送信機動作に連動、または受信後、タイマー動作 送信機タイプが〔1：携帯〕〔2：パッシブ〕…受信後、タイマー動作
警報個別出力	接点方式：無電圧半導体接点　AC／DC30V・0.25A ａ接点／ｂ接点切替式（個別） 接点動作：送信機タイプが〔3：接点〕…送信機動作に連動、または受信後、タイマー動作 送信機タイプが〔1：携帯〕〔2：パッシブ〕…受信後、タイマー動作
	5回路
異常出力	接点方式：無電圧半導体接点　AC／DC30V・0.25A ａ接点／ｂ接点切替式（一括） タンパー、電池切れ、定期送信、環境　計4回路 接点動作：タンパー、電池切れ、定期送信、環境、各異常毎に出力動作 タンパー、電池切れ、定期送信異常は復旧信号受信まで、環境異常は妨害がなくなるまで保持動作
電源／受信表示灯	2色LED　通電時：緑点灯（受信時のみ赤点灯）
CH表示灯	LED　警報受信時：点灯　異常時・メモリー時：点滅
	5
液晶表示	警報、異常発生時に表示（メモリー機能有） 登録、消去、点検、登録内容確認時など操作時に表示
本体スピーカー	警報音：警報時…「ピポピポ」／「ピンポーン」選択式 テストモード時…「ピピッ、ピピッ」 音　量：可変式（無音～80dB）
内蔵ブザー （全て音量固定式）	操作ボタン操作時　：「ピッ」 電池切れ発生時　：「ピッ」20秒周期 点検モードで受信時　：「プッ」 登録エラー時　：「ブー」 登録モード切替時　：「ピッ」 消去モード切替時 メモリー内容表示終了時　：「ピピッ」 点検モード切替時　：「ピピピッ」 電波環境点検モード切替時：「ピピピピッ」 通常モード切替時　：「ピー」 登録確認時　：「ププッ」 登録内容確認モード切替時：「ピー」 電波環境点検モード時　：「ピ」
送信機登録可能台数	60台〔送信機〕
配線接続	端子式
使用可能周囲温度	−10℃～+50℃
付帯機能	受信周波数切替機能、警報音切替機能、鳴動時間切替機能、電池切れ音報知機能、異常出力接点切替機能、 定期送信異常出力機能、警報復旧信号切替機能、警報個別出力接点切替機能、モード切替機能、 タンパー異常報知機能、電池切れ異常報知機能、定期送信異常報知機能、環境異常報知機能、 電波環境点検機能、動作テスト機能、メモリー機能、外部通信機能
設置場所	屋内・壁掛け式
質量	約1,300g
外観	ABS樹脂（ホワイト）

11 外形寸法図 （単位：mm）





12 免責事項について

●本商品は各種の監視、警戒、報知、起動、制御、護身などに使用するもので人身事故防止器、災害防止器ではありません。万一発生した人身事故、災害事故、施工上の不備などによる事故損害については責任を負いかねます。

●本商品の取り付け、取りはずし時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。

●本商品の取り付け、取りはずしによる建物や衣服などへの損傷についても弊社は一切責任を負いません。

●地震・雷（誘導雷サージを含む）および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●保守点検や日常点検、施工上の不備、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

●弊社が関与しない接続機器、ソフトウエアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

●本商品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本商品の価格内とします。

Exsight
エクサイト株式会社
〒607-8345 京都市山科区西野離宮町16-1
Tel. 075-594-8288 Fax. 075-594-8380
http://www.exsight.co.jp

＊品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。